京城日報

二十五日夕刊
(朝夕刊を併せて八頁)

本紙定價 ▲一部金二錢五厘 ▲一ヶ月金六十五錢 ▲郵稅一ヶ月金十五錢 ▲前金に限り
廣告料金 ▲五號十五字詰一行八十錢 ▲二號七字詰一行二圓
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通二丁目 京城日報社
振替貯金口座京城三〇〇番

◎ボールジエ新共和國建設
位置をサラトフに定むべし

サラトフ發電＝サマルスカヤ、サラトフスカヤ、アストラハンスカヤ、タンボフスカヤ、ウーフイムスカヤ、ウジリスカヤ、キルギスカヤを一丸としボールジエなる新共和國創設の議あり其中心地はサラトフに置く可しと(哈爾賓特電)

サラトフは露國サラトフ州ボルガ河畔商業殷盛の都府にて莫斯科の東南五百三十二哩人口二十萬餘を有す

◎英國海軍の襲擊

英國海軍は二十三日拂曉オステンド及びゼーブルージュを襲擊し其の通路にコンクリートを滿載せる五隻の船を沈下せりと(倫敦電報)

◎對蘭最後通牒内容

和蘭に對する獨逸の最後通牒は軍需品輸送の爲め和蘭の運河鐵道の使用を要請するものなりと(倫敦電報)

◎グワテマラ國對獨宣戰

グワテマラ共和國は獨逸に對し宣戰を布告せり(倫敦電報)

◎露人旅券監査所長更迭

寬城子及び哈爾賓に於て露國人旅行者の旅券を檢査する監査所長更迭後任として露國歸化の獨逸人任命されたるが此の方面にも獨勢力漸く移り來りしものゝ如し(長春特電)

◎駐露獨大使ペ市著

廿日朝獨逸駐露大使ミルバウ伯はペトログラードに到著せり(莫斯科特電)

◎本野外相辭任顛末追加

左の一項は本朝刊一面所載『本野外相辭任顛末』中三段目二十七行目『意見の交換を爲すに至りし次第なり』の項に入るべきものにて右は全電報區々に分れて到著し朝刊締切後前後して著信せしものなるに付き茲に追加す

元老連の中には從來の外務省は狹き範圍より人を採り狹き範圍にて仕事を爲せる傾ありされば一方には人物の拂底を來し仕事も局部に偏するの嫌ひ無きに非ず是等の者は將來廣き範圍より人物を採るものとしては如何にやとの說を爲すものあり茲に大體方針を決し種々物色の結果後藤内相を以て外相專任とし内務には水野次官を總裁には副總裁を陞任せしむる事となし兒玉翰長は此案を携へて那須野別莊に松方侯を訪ひ次いで京都の無鄰庵に山縣公を田中村に西園寺侯を訪ひ其成行を報告せしに皆異存無きのみならず西園寺侯の如きは豫て其趣旨にて外交界刷新の意圖あり猶果さゞりしが今回の記錄を造れるは欣ぶ可しとなし翰長は直に還りて二十三日の閣議に報告し決行するに至れるが是れに先ち右の顛末を元老に報告すると同時に寺内首相より原政友會總裁に對しても前述の成行に關し懇談する處ありたり而して後藤新外相の外交上の意見手腕は未知數なるも外交は外務省の外交に非ず内閣の外交なる以上大臣の更迭の爲め根本方針の變更を來す可き理由無し從つて新外相は從來本野外相の努力せる處を共に繼續して最善の努力を盡す事勿論たる可し(東京特電)

◎鮮銀對奉天財政廳借款成立

朝鮮銀行と奉天財政廳との間に三百萬圓の借款成立せり(東京電報)

▲借款内容 右借款は利子六分五厘償還期間は五箇年にして其目的は奉天財政廳の官銀號整理に要するものなりと(東京電報)

◎印綿公定沙汰止

廿四日入電に依れば印度政府の印綿公定は沙汰止となりたり(大阪特電)

◎在阪朝鮮米

大阪調査に係る朝鮮米の大阪在高は五萬九千五百六十八石也(大阪特電)

◎總督邸晩餐會

長谷川總督は來る二十九日午後六時半より總督官邸に於て目下入京中なる各道長官を主賓として晩餐會を開くべく總督府側よりは政務總監を首めとして各部長官、各局長、在京城所屬官署の長官及び軍部の重なる人々、並びに武官、副官、秘書官等出席すべし

◎道長官會議(第三日)

道長官會議第三日は二十五日午前九時より總督府第二會議室に於て政務總監統裁の下に開會前日に引續き諮問事項の答申あり正午散會せり

◎地方費豫算認可濟

各道地方費豫算は過般來總督府當局に於て審議中なりしが二十五日京畿道地方費豫算の認可を以て全部認可濟と成りたれば一兩日中に發表することゝ成るべしと

◎制限除外品

今般其筋の發表する所に據れば米國輸入制限品目表第八『ブレッドスタフ』の中には米を含み居たるが本月十三日米を除外する旨發表され更に第二十一『置時計及び懷中時計並に其の部分品』中より『懷中時計用硝子』及び第三十五『各種堅果』中より『カフニナット』を孰れも本月十日より除外する旨四月十五日發行の戰時公報にて發表せられたり

◎七年度府豫算

過般總督府より認下の指令ありたる大正七年度京城府歳入出豫算を開くに歳入に於て經常部三十九萬九千五百八十圓臨時部十三萬五千五百六十三圓合計五十三萬五千百四十三圓歳出に於て經常部三十三萬四百七十六圓臨時部二十萬四千六百六十七圓合計五十三萬五千百四十三圓にして之を大正六年度の豫算總額三十九萬八千三百六十圓に比すれば十三萬六千七百八十三圓の膨脹を示せり今本年度に於ける膨脹費の大體に於ける内譯を見るに下水改修費に於て十二萬六百圓汚物掃除費(人夫車馬賃)に於て二萬餘圓、給料雜給及び臨時手當に於て二萬五千餘圓等にして右の内下水改修は多年の懸案たり六年度に於て之が實施設計を爲し工費總額六十萬三千圓の豫算を以つて本年度より五箇年繼續事業たるものなり而して之に充當すべき財源は府稅に於て五萬九千餘圓の增徵國庫補助金(下水改修工事費として)六萬餘圓、地方費補助金一萬二千餘圓等を以つて增加膨脹の主なるものとせりと

◎爲替貯金狀況

手形交換所に於て京城郵便局が毎日拂渡したる線引讓渡爲替貯金狀況を聞くに本年三月中の交換掛は爲替に在りては口數に於て一萬六百四十五、金額十七萬九千四百七十三圓七十錢外國爲替に在りては口數に於て二十七、金額に於て五百九十一圓二十四錢を又振替貯金に在りては口數に於て三百四十二金額に於て九十五萬五十二圓九十錢を算せり即ち爲替外國爲替振替貯金合計口數一萬一千十四、此の金額百十三萬百十七圓三錢を示せるが之れ前年同期に對比すれば爲替口數に於て三千八十三を金額に於て七萬百八十一圓十五錢を孰れも增加し外國爲替に在りては口數二十、金額五百二十七圓七十三錢の增加を示せり又振替貯金に在りては口數に於て十二の減少を見たるも金額に於て三十三萬九十五圓七十七錢の增加を示せり即ち合計に就いて之を見るに爲替外國爲替、振替貯金の口數に於て三千九十一、金額に於て四十萬九千七百二十四圓六十五錢の孰れも增加を見たる譯なりと

◉米價調節策と朝鮮
今次は幾干の影響あるべし
總督府當局者談

帝國政府は過般、米價の暴騰を抑止すべく、定期市場に對し當中兩限の立會停止を命じた、之れは當然の理路を辿れる措置たるは言ふ迄もない、併し一般に米價調節策として著しき効果あるべしとは認められなかつた樣である、果して内地の米價は一時少しの反動高を見せて、再び立會停止前の

▼相場に復した 當時吾等當局に於ては、朝鮮の米穀市場には何等の影響もあるまいといふ見込みをつけて居たが、是亦豫想通り些かの變動も無かつた、然るに東電に依れば、今回政府は輸入外米を管理することに決した樣だ、即ち其方法は民間の輸入業者をして米の買付を爲さしめ、政府は補償金を交附して輸入米全部を徵收し公定價格を以て賣出さしむるといふのだ、而して其補償金なるものは關稅を撤廢する代りに、之に相當するものを當業者に交附する、即ち當業者に取りては關稅を撤廢されたのと同樣である乃で問題は

▼船腹の關係に 歸る、現在西貢米の輸送費が八圓見當である、政府の補償金が之れに迄及ぶか何うかは、電文簡にして知ることを得ないが、兎に角關稅の補償丈けでも米價の調節に相當の効果はあるに相違ない、目下西貢の白米一等品は百斤九圓九十錢で、石に換算すれば二十三圓七十六錢と成り、同一等玄米は十八圓四十八錢である、之れでは内地米の價格に比して、不味を忍むで外米を食ふ程の開きでも無い、一方從來の外米在荷も餘り豐富で無かつたので商人は手心を加ふるの餘地も有つた譯だ、處で關稅の補償がある輸入を奬勵すれば

▼外米が饒かに なる、原因は結果と相俟つて外米の價格は大分下がる、下がれば當用が殖ゆる、斯る段取で内地米も今の相場を維持する譯には行くまい、即ち政府の調節策は功を奏するであらう、爾うなると鮮米も其影響を免かるゝことは出來まい、鮮米の相場も幾らか下落するものと見るのが至當であらう。

◉鐵道收入概況

本月中旬鮮鐵營業收入を聞くに京釜京義京元湖南成鏡線合計營業哩一千九十二哩、乘車人員二十四萬六千三百三十八人小手荷物斤數七十一萬九千九百七十一斤貨物噸數六萬三千六百三噸にして客車收入三十八萬四千九百九十七圓、貨車收入三十八萬八千九百三十一圓を算し一日一哩平均收入三十五圓六十二錢を示せり之を前年同期に比較すれば九圓十二錢が一日一哩平均收入增加となる今各線に於ける營業收入を示せば左の如し

▲京釜線 三百二十四哩四分の營業哩數に對し乘車人員十二萬二千八十七人小手荷物四十三萬四千九百一斤貨物二萬六千九百八十二噸客車收入十一萬八千四百六十六圓貨車收入八萬九百六十九圓運輸收入十九萬九千四百三十五圓を算し此の一日一哩平均收入六十一圓四十八錢なり

▲京義線 三百六十一哩二分の哩數に對し乘車人員六萬七千三百七十三人小手荷物數十萬零五十八斤貨物數二萬一千二百三十九噸にして客車收入四萬六千八百十圓貨車收入六萬二千八百二十圓運輸收入十萬九千六百三十圓を示し此の間一哩平均收入三十圓三十五錢なり

▲京元線 百三十八哩四分の哩數に對し乘車人員一萬七千五百八十四人小手荷物數六萬一千百六十六斤貨物數五千五百八十四噸にして客車收入一萬四千五百五十八圓貨車收入二萬一千九百四十五圓運輸收入三萬六千五百三圓を算し此の一日一哩平均收入二十六圓三十三錢なり

▲湖南線 百七十六哩に對し乘車人員三萬一千二百二十一人小手荷物數十一萬六千百三十七斤貨物數七千五百九十三噸にして客車收入一萬九千三百十七圓貨車收入一萬五千六百四十六圓運輸收入三萬四千九百六十三圓を示し此の一日一哩平均收入十九圓八十七錢なり

▲成鏡線 營業哩數南部に於て三十三哩九分北部五十八哩一分に對し乘車人員南部に在りて三千三百七十一人北部に在りて四千七百十二人小手荷物數南部は二千三百五斤北部は五千四百四斤貨物數南部は百五十二噸北部は二千五十二噸にして客車收入南部は一千四百二十三圓北部は三千三百六十圓貨車收入南部は二百二十五圓北部は三千三百九十二圓運輸收入南部は一千六百四十八圓北部は六千七百五十二圓を示し此の一日一哩平均收入南部に於て四圓八十六錢北部に於て十一圓六十二錢なりと

◉滯貨問題
(四) 商工家の努力を要す

滯貨解決の方策としては前述の外此際鐵道當局者に對し能ふべくんば車輛の增加を懇願するを要す何は當局に於ても滯貨處分に就ては

▲全力を傾注 して努力しつゝあるは識者の等しく認むる所なり或は浮山商會との連帶輸送の如き或は車輛の急造又は配給の改善の如き悉く然らざるはなし然れども滯貨狀況は依然として舊態を革めず前述の數量のみにても二萬數千噸、當局の發表する計數によれば三萬三千噸を上下し何等減退の傾向なきが如し個々米國に注文せる汽罐車は禁輸の厄に遭ひ滿鐵本線亦滯貨に苦しみ運送力を有せずと聞く現在以上の輸送力を希ふは殆んど不可能なるの感なしと言はざるべからず茲に於てか商工家は自ら奮て此の

▲苦痛を脫却 すべき一段の工夫なからざるべからざる理なり以上述ぶる所の方案は其の一を實行するも或は幾分づゝを實行するも効果誠に渺からずと信ずれども性質上急速に行ふ能はざるの憾あり故に消極的方便として銀行家の助力を求めんと欲するものなり滯貨の結果甚しく金融上に障礙を來せるは否むべからざる現象なりとす其れが爲め小資本家の立場が甚しく困難に陷れるは看過すべからず、現狀にして將來永く持續せば鮮鐵の小商人は次第に大商人に其業を奪はれ社會組織上憂ふべき

▲缺陷を殘す ことなしとせず尤も銀行が不確實なる取引に對して警戒すべきは當然の事理なれども警戒度を超ゆる時は銀行自身の損失よりも社會の損失增大し公益機關たるの本旨に反する結果を來すことあり斯くの如き場合銀行家は宜しく信用を與ふべきものなりと聞けり現今取引上小商人が苦めつゝある苦痛は滯貨其のものよりも寧ろ金融方面に甚しき樣なり此れを救濟すべきは一に銀行家の態度奈何に存するものと謂ふべし要するに滯貨の解決は頗る難事なり

▲机上の論は 兎も角として其の實行には種々の障礙を伴ふことを覺悟せざるべからず而して萬難を排し障礙を排除するは偏に商工家自己頭上の公案なり近く商工家の嘆息の聲のみ徒らに多くして此の難關を排除する底の努力を見ること稀なるは亦滯貨漸增の一因と見られざるにもあらずと

◉哈市酒類輸入解禁

東淸鐵道にては從來酒類の輸入を禁止せしが本月十七日より哈爾賓行の酒精及び酒類輸入解禁の旨滿鐵會社へ通知ありたり

□櫻島を雲の中に
鹿兒島安著
早や梅子は拇指大に
‖九州觀察團より第七信‖

鐵道は大畑から南は山の頂きを傳つて鹿兒島に下る、大畑矢嶽間には六千七百八十八呎の大隧道があると言ふので皆時計を出して時間を計るやら卷煙草を出して

◘何本目を 吸ひ終るかなどゝ試し合つた、隧道を出ると汽車は平均三十三分の一の下り急傾斜を無茶苦茶に駛る高地の春未だ淺しとは言へ山躑躅は紫の花房を垂れてゐた眼下の千仭の谷底には淡い綠の霞がかゝつてゐた、山頂からの展望は實に雄大なもので旅に慣れた人も慣れぬ人も共に車窓に頸を重ね出して村落と山と海と雲の鹿兒島を指呼しつゝ

◘筑紫の涯 に訪ね行く旅の愉快さに我を忘れたものの如くであつた無佛紳社長は靑年時代草鞋踏みしめ乍ら此山中を踏破したが當時は落葉堆く積つて沼氣身を衝き山蛭が手足に吸ひついて氣味の惡かつた併し此の山巓に上つて遙かに紫煙漂渺たる鹿兒島灣を望むとほつと安神したものだつたと懷舊談をした一行も日向線の分岐點

◘吉松驛に 出ると櫻島に額を突かれたかの樣に騷ぎ出して雲の中の櫻島を延び上つて眺める吉松驛には鹿兒島の有志多數出迎へがあつたが其中には山野田一成氏が乘込んで居て鹿兒島市會議員元姓朴遠祖は保朝鮮慶尙南道密陽之出と言ふ名刺を出し誰彼の差別なく懷しさうに言葉を交へて居た國分驛附近になると麥は穗を孕んで既に一寸位の

◘穗の出た 處もあつた山も野も朝鮮の初夏の氣分を味はせる程で樹木に乏しい國の人々は嬉しがつた山を見て虎が出はすまいかと心配する鹿兒島に著いて南國の春の速さに驚いたのは梅の實の拇指大に實を結んで居たのや[illegible]の子等が海に泳いで居たのや旅館の枕安からぬ折しも蚊の鳴く聲に驚かされた事などで櫻咲き盛る京城の昨日今日の都樂は一箇月も前に鹿兒島の人々は味つてゐる

◉京畿春蠶配付

京畿道勸業係にては春蠶に係る約五萬五千枚の蠶種を本月二十六七日頃各郡に配付すべく其の掃立時期は五月中旬頃になるべしと觀測し居れり

◉貨車五輛竣成

滿鐵京城管理局にては草梁分工場に於て製作中の有蓋貨車六十輛の內五輛去る二十日竣成出庫せり

◉普通校教員講習會

來る五月一日より公立普通學校內鮮人教員の講習會を開催すべく會場人員等左の如し

▲內地人教員 會期五月一日より七月二十九日迄會場京城高等普通學校、講習員[illegible]四十八人
▲鮮人教員 會期五月一日より九月三十日迄會場京城高等普通學校、平壤高等普通學校、講習員京城四十四人、平壤十六人

◉永沼中將講演會

來鮮中なる永沼中將は二十四日新義州に於て講演會を開きたるが今後各地に於ける講演の日割左の如し

▲二十五日 午後八時より於平壤(平壤在鄕軍人分會主催)▲二十七日 午前九時より於開城高等小學校(開城在鄕軍人分會主催)▲二十八日 午前九時より於京城南大門小學校(京龍在鄕軍人分會主催)

尙同中將は來る五月五六日頃東京に於ける全國青年大會に出席の爲五月二日頃釜山より歸東すべし

◉道長官歡迎會

宇佐美內務、鈴木度支部、小原農商工部、長官及び關屋學務、荻田總務、入見鐵道各局長の發起にて來る二十七日午後六時より入京中の各道長官を花月に招待し歡迎會を催す出席希望の向は廿六日午前中に總督府總務課に申込むべしと

◉軍司令官招宴

松川駐劄軍司令官は二十六日午後七時同官邸に於て晩餐會を開き目下道長官會議列席の爲入京中の各道長官を招待すべく陪賓として長谷川總督、山縣政務總監其他臨席すべし

◉朝鮮銀行張宴

朝鮮銀行にては二十六日午後六時半より目下入京中なる各道長官、總督府各局長以上を花月に招待し晩餐會を開催する由なり

◉立花師團長動靜

西鮮部隊巡閱の途に在る第十九師團長立花中將は廿五日義州部隊の檢閱を爲し二十六日は義州發新義州に向ひ廿七日同地の檢閱を爲し廿八日平壤に赴き二十九、三十の兩日平壤部隊の檢閱を了へ五月一日歸任すべしと

◉平壤聯隊長赴任期

既報の如く平壤步兵第七十七聯隊長たりし野島大佐は少將に進級し待命となりたるを以て其後任として關東都督府附副官步兵中佐谷村定規氏大佐に進級し同聯隊長に補せらるゝ筈なるが野島少將は既に歸鄕したるを以て近日中に赴任すべし

◉田邊中村兩氏來期

朝鮮紡績株式會社專務田邊輝雄氏は同社顧問中村彥氏同伴廿五日午後四時東京出發廿七日午後九時入京の豫定なり著京の上は兩氏共永樂町二丁目七番地の住宅に入る可し

◉會計局檢査官一行

水島會計局檢査官一行三名は廿五日朝釜山著直ちに滿州に向へり

◉大原司事桑港著

經濟事情調査の爲め米國に出張せる鮮銀大原司事は二十四日桑港に著せる旨同行に電報ありたり

◉貨物取扱開始

鐵道院横須賀線田浦停車場にては從來一車積貨物の外取扱を爲さゞりしが去る十五日より一般大貨物の取扱を開始したる旨京管局に通知ありたり

◉土地調査局員募集

既報の如く土地調査局に於ては曾て同局に奉職し當部測量又は異動地測量に從事したる經歷ある朝鮮人約三百名を募集し短期間養成の上全道各府郡島の地籍を調査し又は異動地土の分筆整理に從事せしむる由なるが右願書提出期限は來る三十日迄にて之に添付すべき民籍謄本の如きは都合に依りては就職後差出すも差支なく又選拔試驗課目等に付同局に照會する者ある由なるも右は曾て同局に在職し同事務に經驗ある者のみを採用するものなれば必ずしも試驗を行はず應募人員超過の際に於ては之を行ふ由にて從て科目の如きも未だ決定し居らずとの事なり

◉產婆看護婦試驗

京畿道廳にては來る六月十一日及び同十三日の兩日同廳內に於て產婆看護婦試驗を施行すべく右受驗者は總督府令產婆試驗規則同看護婦試驗規則京畿道令產婆試驗施行手續並に同看護婦試驗施行手續等に依り來る五月三十一日迄に願書を提出すべしと

人の消息

▲柴崎鐵吉氏(京城中學校長) 二十三日大邱に赴き二十四日夜歸任
▲和田八千穗氏(外科病院長) 母堂病氣の爲め郷里鹿兒島に歸省中なりし處二十四日夜歸京
▲清水榮之助氏(淸水組員) 二十五日朝入京朝鮮ホテルへ
▲谷垣嘉市氏(群山商業會議所長) 廿五日朝入京龍尾へ
▲岡本當三郎氏(北鮮日報社長) 同上
▲仲市太郎氏(東京鑛業家) 同上巴城館へ
▲橋本幹次氏(實業家) 同上
▲澁谷忠南第一部長 大田出張中の處二十一日夜公州に歸任せり
▲佐藤東次郎氏 東上中の所二十四日夜歸城

◆閑望閑錄
蒼洞病客

○西部戰線に於ける獨軍が、イープル附近の攻擊に、頓挫を來さんか、其失敗たるや、遂に決定的の失敗たらざるべからず。されば獨軍は[illegible]死活を賭して、執拗なる攻擊を持續すべきや明也。之に對してフォッシュ將軍が未だ總豫備隊を提げて、敢て大搏擊を試みざる、戰況は持久の狀態を示さんとす。然れども獨逸が果して持久戰に堪へ得るや否や。

○イープル攻防戰に於ける、ケメル高地の爭奪は、旅順戰に於ける、二〇三高地の爭奪に似たり。獨軍三度足場を得たるも、遂に擊攘さる。但し獨軍にしてケメル高地を奪取せば、イープルは眼下にありて、英軍到底守備するに難き要地なれば、此の一戰こそ眞にイープル戰に於ける天王山たるの觀なくんばあらず。

○獨軍が多大の犧牲に顧慮せず、且に一村を得、夕に一部落を占領しつゝも、依然として其猛擊を繼續するは、斯くて一門一關を排せる後、獨軍は得意の野戰に移らんとすべく、野戰は獨軍の最得意とする處、英軍に取りては、懸念に堪へざるものあり。

○吾人は西部戰線を以て、既にウオーターローの役に比したりしが、ブリュッヘル將軍にして、英軍救援の機を失せんか、英軍は遂に支へ能はざるの大敗を招きしなるべく、グルーシー將軍にして、機を失せずして會戰せんか、奈翁は必ずや永久に全歐洲に其威名を擅にせしなるべし。蒲を持して動かざる、フオッシュ將軍の總豫備隊の活動こそ、將に世界の刮目する處、將軍の責任やまた重しと云ふべし

十一月一日現行

特別の思召から
アットホーム御開催の趣旨
軍事思想の涵養に資し慰安の勘ない内鮮人に慰安を與へんとて
總督附武官 釜屋少將談（下）

東伏見宮殿下は今回御修了後更に京城仁川の主なる官民約五百名を御招待の上アットホームを催されたが之は寄港先では何處でも行はれると云ふ筋のものではない、這回のは全く宮殿下の特別の思召によるもので其第一の目的は

▽軍事思想の 涵養に資すると共に慰安の尠ない内鮮人に慰安を與へると云ふ點に在つたのである、宮殿下の思召も拜察し得ずして唯何も彼も上の空に見逃がし聽き逃がし御饗應の御馳走を無意味に頂戴して引き退つたのでは、何んにもならぬのみか洵に恐れ多い次第と言はねばならぬ、實際軍事思想を涵養する上に於て今度程好い機會はなかつた、と申すのは今度宮殿下が御招待遊ばされた軍艦は幾多海戰上の實驗に鑑み世界

▽海軍の趨勢 に應じて建造されたもので最新式の造船術を應用し最新式の武裝が施してあるからである李王殿下が三十六珊砲の砲彈は三十九秒間に仁川から素砂迄届くと聽いて驚かれたのも尤も千萬なお話である、之と同じやうにアットホームの參列者乃至一般拜觀者の中にも最新式軍艦の威力に驚歎したものは決して尠なくなからうと思ふ、宮殿下は何事によらず頗る御熱心の方であるが殊に御職務柄海軍に關した方面には一層御熱心である、現に宮殿下には

▽海軍作業の 改良發達を圖られる御目的から治く海軍部內に右問題の答案を求められる事がある、之が爲めには特に審査委員迄設けてあるが審査の結果答案の優秀なるのに對しては宮殿下から莫大な御賞與さへある、斯して絶えず海軍作業の進歩發達に資して居られるが之と同樣の意味から今度御入京に際しても御巡覽の各學校には夫々奬學資金の御下賜があつたと云ふ事である、萬事が斯麼調子で其御熱心に亙らせらる御性格を拜するにつけ吾々は常に

▽自ら顧みて 忸怩の念に堪へないのである、倘宮殿下の京城御訪問

水の節約を頭に置いて貰はなければ
市民は何時迄經つても水不足の苦痛から脱することは能きない
又復心細くなつた京城水道

二十一日から制限給水を行つてゐた京城水道も市民の使用量增大一方で水源地の水は低下する許りで數日を經過すれば遂には一滴の水すら通ずる事が出來なくなつて了ふ狀態であるから已む無く二十五日午後一時より

◆送水を停止し午後六時より九時迄三時間送水し九時より翌朝五時迄斷水、二十六日以後は午後六時停水翌日午前五時送水する事になつたつまり二十六日以後は夜間は一切水が出ない事になつて了つた、いくら何と云つて見た處で水が無ければ是非も無い事である二十四日の使用量は四十九萬何千立方尺殆んど五十萬立方尺の水を使つてゐる

◆京城水道は 最大送水量が四十五萬立方尺だから足らぬも道理である、二十五日正午の水源地は底に僅か三尺一寸より水が無い此の際市民は各自に水の節約と云ふ事を考へねば何時迄經つても此の困難を脱する事は出來ぬであらう特に臺所を預る人の注意を促して水を濫用せぬ樣にし度い

◆何う云ふ點 に注意するのかと云へば

一、バケツへ一杯に水を汲まぬ事で之れはよく見受ける事であるが一杯に汲んだ爲め提げて居る迄に三分方は零れて着物や足袋をぬらす者がある

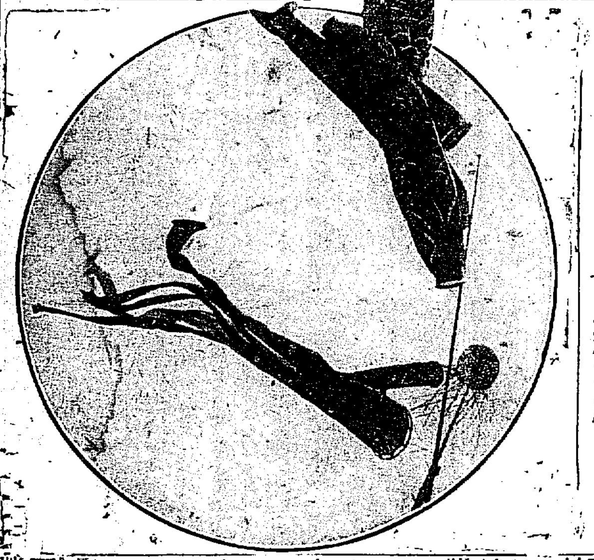
二、洗濯をする時盥を水口の下に置いて水栓を開け放しにして置く者がある之れは水道の[illegible]を利用して手を下さず洗濯しようとする者らしいが公共心に訴へてこんなケチな無精は止めて貰ひ度い

三、道路へ撒水する場合は成る可く水道水を使はぬ樣にし度い已むを得ぬ場合も大雨の後の樣な撒き方は水の濫用でもあれば通行人の迷惑でもある

四、一升の水も次ぎから次ぎへ利用の方法を考へる可きである例へば米を磨いだ汁は洗濯に用へば垢もよく落ちる其の他とか撒水に用へば三度に使へる

五、風呂の後は洗濯に使ふ樣にすれば湯を沸かす世話も無く其又後は庭の撒水に使へる

◆主婦が細心 の注意を斯樣な點に拂へば一升の水は六七合で間に合ひ從つて斷水を防遏する事が出來る七月には仁川水道の水を引く裝置が出來るから其れまでは一にも水の節約二にも節約で斷水を免れるより外に方法は無いと水道係は談つてゐた。



五月晴の空泳ぐ
鯉幟勇ましい

端午の節句が近づいた紺青の空に泳ぐ緋鯉眞鯉ハタ〳〵と勇しくはためく幟を仰いで小さな清正や辨慶が肩を聳やかす端午の節句が近いた花！花！花を誇る

◇滿都の士女 が花に浮かれる昨日今日早い家では最う鯉や幟を景氣好くおし樹てゝ居るし本町あたりの各商店にも何時しか武者人形が武張つた顏を並べて金ピカの鎧姿に子供の足を惹き付けて居る、そこで三越、夏川、サクラヤに就いて今年の流行相場と云つたやうなものを聞いて見ると三越は然うでもないが

◆其他の店は 鐵道の輸送力が充分でない結果仁川揚げの船積にした爲め例年よりも仕入れがズッと遲れいつも月の中頃には最う陳列して居るのに今年は漸く二十日過ぎに荷が届いたと云ふ有樣だ相な値段は外の物價が騰貴して居る割合に騰貴して居らず昨年に比べて一割五分から二割方高くなつた丈である其譯は原料から

◆工賃は非常 に膨脹して居るのだが斯麼物は大體相場の極つたもので、諸式が騰つたからと云つて然う無闇に高く賣る譯にも行かず止むを得ず原料を落して鑑の格を合はして居ると云ふ事で或る武者人形はお雛樣程逃しい變選はなく從つて昨年に比べて特に新たらしい

◆型と云ふ者 も餘りないが三越には今年初めての試みと云ふ木彫の武者人形が來たお雛樣の木彫は四五年前から流行つて居るが武者人形の木彫は本當に珍らしい之は三圓から五十圓迄ある相だ

新入學生を毆打して
重傷を負はす
▼旅順中學生徒の暴行

旅順中學校寄宿舍にて五年生十餘名は去る十五日新入學生十名を舍長室に呼び入れ毆打し石村英賢、有田巖の二名に重傷を負はせたるが學校側にては負傷生徒に應急手當を爲し事件の漏洩を防ぐ爲め被害生徒の通信を遮斷し居たるも遂に被害者父兄の知る處となり二十日勝浦校長は加害者三木有造、城戸英一、中島信行の三名に對し無期停學を命じたるも同中學にては去る二月も暴行事件あり校長以下關係職員譴責を受け其後間も無く再び此事あり校長に對する非難沸騰せり（大連特電）

長春の馬賊
人力車三臺を强奪す

廿三日夜十一時附屬地內の滿鐵病院橫に於て日人經營の人力車帳場の支那車夫三名の馬賊襲ひ手足を縛し足部に傷を負はし所持金全部及び三臺の護謨輪車を奪ひ逃走せり（長春特電）

幽靈會社の詐欺事件

怪しき會社を製造し新聞紙上に誇大の廣告を出し事情に疎き人々を釣る者あり是れも其中にて化學工業機械會社、東洋興業會社等を拵に犯せし商法違反詐僞事件は二十四日豫審終結大阪地方裁判所公判に移されたり（大阪特電）

京都北新地遊廓の火事
十二戸燒失す

廿四日午前三時京都西陣北新地貸座敷角政より出火高樓十二戸燒有に歸し國清寺本堂も亦半燒同二戸半燒せり（京都特電）

法廷の椿事
被告、被告を射撃す

桑港法廷に於て印度叛亂事件審問の際一被告は他の一被告を射殺し己れも亦警官の爲め射撃され重傷を負へり（桑港特電）

貨物列車の火事

廿四日午後一時四十分明石驛にて貨物列車進行中車內に火を出せしも途中にて消し止めたり（大阪特電）

砲兵工廠損害額

既電大阪砲兵工廠內藥莢工場出火の損害額は約四萬圓に達せり（大阪特電）

津守芳子刀自

前の若葉の內侍津守芳子刀自は廿四日午後二時三十分心臟內膜炎にて逝去せしも未だ喪を發せず（大阪特電）

出火頻々

二十四日午前十一時二十分頃京城永樂町一丁目十一番地の空地に堆積しある塵芥より發火したるも直ちに消止む▲同日午後一時十五分頃蓬萊町一丁目百五十三番地先遠方の屋根端より發火何れも常備消防出動して即時鎭火せしが双方共小兒の弄火より出火▲又同日午後十一時四十五分頃大和町一丁目三十番地木附某方の塵芥箱より發火し大事に及ばんとせるを夜警番が發見即時消し止めしが原因は火氣ある焚灰を棄てしものより發火

我將校二名軍事探偵の嫌疑にて過激派の手に捕はる

長春來電＝チタ地方にて寺西中佐及び森大尉の兩氏は軍事探偵の嫌疑にて過激派に捕はれ猶滿洲里にては瀨野某外三名逮捕さる邦人危險なり（大阪特電）

大分縣人會

京城居住大分縣人會にては二十四日夜春季總會を黄金町精華亭にて開催、幹事より開會の挨拶あり二三事項の協議を遂へ宴會に移りしが出席會員百餘名頗る盛況を呈し和氣靄々裡に散會せり

●鳳山遊園觀櫻會 大阪朝日新聞主催にて來る廿八日鐵策津鳳山遊園にて家族觀櫻會を開き、餘興の催等ある由

清正公に殉死した鮮人金宦の墓
‖陶んで老僧は語つた‖（下）

清正を祀つてある本妙寺は天正十三年大阪に建立し開山を日進上人と言つた、其後肥後國を領する事となるや熊本城內

◆◇法華阪 に移し其碁する也遺言に依り第三祖日遙上人の手に依つて今の處に移された、本妙寺は熊本城と相對して輪奐宏壯境內の幽邃なる事は一度杖を此處に牽いた者の感嘆する處であるが是が創建者なる日遙上人こそ視察團員に取つては懷しい純粹の朝鮮人であつた、清正の率ゆる

◆◇常勝軍 が破竹の勢を以て進む所大軍を鏖殺にした、併し清正は血に餓ゑた猛將ではなかつた一度軍を引揚ぐる事となるや之等護國の鬼と化つた將卒の冥福を祈らせんがために朝鮮から紳角の幼童を連れ戻つて身延山に上せて僧とした後年本妙寺を熊本に移すや清正は此僧を

◆◇本妙寺 の第三祖とした之が即ち日遙上人であるが清正は逝するに當つて吾が軀を熊本城の第一天主閣と同じ高さの地に祀れと遺言した曰く萬代の後までも熊本城を鎭護せんと遺言した日遙上人は清正の遺言に基き御秋山を拓開ひて本殿を建て終生清正の冥福を祈つた爾來三百餘年

◆◇法華經 に歸依する者日夜清正公廟に詣でゝ讀經の聲寺內に溢れて居るが朝鮮人をして冥福を祈らせた武將の床しい心根は千古の後にまで芳るぞと土地の人々は清正の德を懷ふ事厚い斯樣に清正は信仰上にも事業上にも

◆◇朝鮮と 深い關係を結びつけて居たが本妙寺の境內なる寶物館には今もなほ三韓進略の際用ひた[illegible]一、軍勢人馬濫妨狼藉の事、二、放火の事、三、下人百姓に對し非分の儀申懸事、右條々に違犯したる者は嚴科に處ぜらるべき者也[illegible]

海遙
斗轉月未落 舟行夜已深
有村知不遠 風送敷戸砧

◆◇高麗門 などがある又物產には朝鮮飴や朝鮮の醸造法に依つて製せられる赤酒がある視察團の一行は甚に芽生ゑた朝鮮芝にも溫かい懷かしさを覺えつゝ朝鮮に師を迎へた勇將の遺跡を弔つた

●香川縣人運動會 在京城香川縣人會は來る二十八日東四軒町世泉亭に於て春季大運動會を舉行すべく日下幹事の手許に於て奔走中なるが當日は定めて盛會なるべし

讀者文藝（一等には五十錢の切手券を呈す）

▲一口噺
○讀者『愈々米穀取引が中止されたさうだね』米屋の子供『でも家のお父さんは矢張り賣つて居ますよ』（一等） 鳥致院 菩 太郎
▲讀者『今年も亦日曜が見頃かナ』（丹の櫻は今度の日曜が見頃だ） 京城 栗々坊
▲鈴坊『政府では全國の米穀取引所に預金停止命令を發したソーダ』拔作『ソレデヤ又米價が騰るかナ』 京城 冷 花
▲北韓日報の記事を見て 北へ六里『最早雪が降るか、すると今年は夏はないのか知ら』 義州 松 月

灯も頃 [illegible]

商況

兵庫期米 二十五日前場 寄付 二十六圓四十一錢 四十四錢

東京期米特電 二十五日前場 二十六圓六十錢

大阪三品特電 二十五日前場

四月限	三二八、二〇
五月限	三三一〇、〇〇
六月限	三三一〇、〇〇
七月限	三三四九、五〇
八月限	三三五〇、〇〇
九月限	三三六五、〇〇

大阪株式特電 二十四日後場

銘柄	期	價	前日比
大阪株式	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東京株式	[illegible]	[illegible]	[illegible]
堂島米穀	[illegible]	[illegible]	[illegible]
村上新株	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日本郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東洋紡績	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三上所作	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘淵紡績	[illegible]	[illegible]	[illegible]
富士瓦斯紡績	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東洋紡新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪電燈	[illegible]	[illegible]	[illegible]
宇治川水電	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪期米特電 二十五日前場 寄付 三圓二六、二七 五節 二九

下關期米特電 二十五日前場 [illegible]輸入外米を禁止し且つ關稅撤廢同様の補助を爲す旨發表したる反抗買の爲め利目薄し

雜報

●綿糸布低落 今朝の場 三品入米棉二十八仙九八にて前日に比し三十五錢安 十錢方安 更に低落 現物 綿糸は龍レ

一現物十圓五十五錢 三銘先物十圓六十五錢

●正米は軟弱 正米地場は前日來不足の爲め精米筋相變らず[illegible]

●賃米需給緩和の策を採る[illegible]

錢方の小弛み 正米十[illegible]

度迄の效果は當然或程度の自然的緩和[illegible]

●內地製粉氣丈 新麥粉間に於ける多大なる値鞘が[illegible]

待し難きもの 粉價の暴落は期し難き如し

●粉米引締まる 人氣强硬 品薄勝

●大豆引弛む 麥の收穫期切迫 大豆は又々二十錢低落

●蒟蒻粉奔騰す 下關相場 減少五割餘

仁川米豆取引所仲買人 今村覺次郎 仁川海岸町三丁目 電話三七番

仁川正米 釜山穀物 南大門の廻穀

●京城日丸市場 生魚市場 ●釜山水產市場 [illegible]

仁川期米 二十五日前場（低落）大阪十一錢下寄移 先二十一圓 十錢十一錢安 寄付[illegible]

市場雜觀 落し混戰 六錢と瓦 賣物更に多く 裡に不勢の成行 迷な報 大阪の氣 表面尚一萬三千百五十石の取組を擁 氣配十錢安 大阪二節 高京同事入電 兵庫三錢 外國米の輸入 稅金に該當する金額 拂戾

仁川米豆取引所仲買人 內海仲買店 仁川本町 電話長六五番

仁川米豆取引所仲買人 田中金兵衛商店 仁川海岸町三丁目

仁川米豆取引所仲買人 廣澤正次郎 仁川海岸町三丁目

仁川米豆取引所 二十五日の六月限

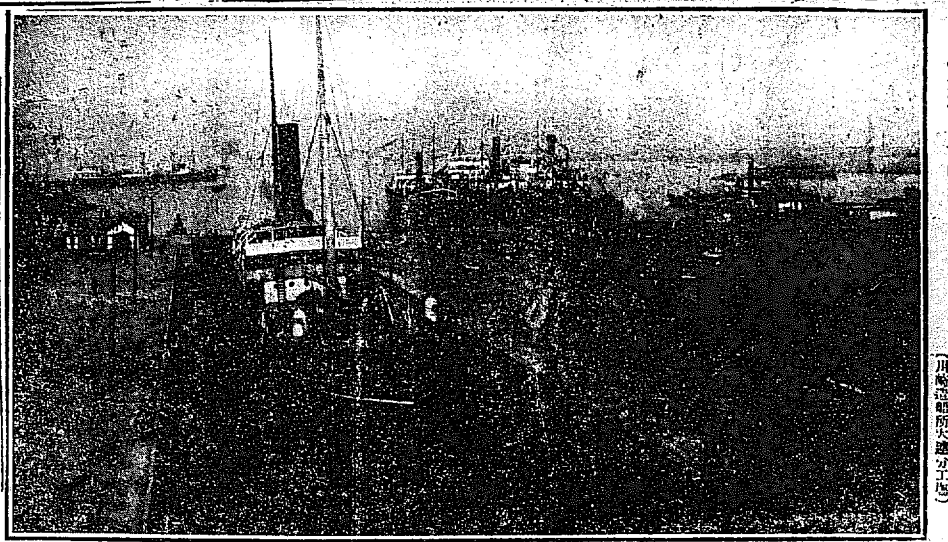
白米標準値 二十六圓七十錢

小賣白米 一等白米 二十七圓五十錢 二等白米 二十七錢

大阪期米 二十五日後場
仁川米豆取引所 二十五日の六月限
●葉から發火 四月二十四日午前十時三十分頃京城蓬萊町三 屋根に燃え移り大事に及ばんとせるを常備消防隊出動して消し止む
●南軍に投石
文藝課題及募集規定
□募集規程▲用紙は端書叉は同形の用紙一枚毎に雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲一等[illegible]
曇但小雨

景氣の好い事ばかり

◇滿洲の起業熱益々勃興し來る◇


◇大連で一萬噸級の汽船を建造する樣になつた（川崎造船所大連分工場）

◈名物豚の毛◈

刷子を製造する大會社起らん

滿洲に於ける刷子工業は是迄邦人に於て着眼するものなく之が主なる原料の豚毛は從來悉く英佛米獨人等の手に歸し盛んに歐米に輸出せらるゝ狀態なりし然るに刷子製作の如き家庭の手藝に俟つ工業は我が邦人の特長とするところにして近時日本は刷子製產國として急激に發達し輸出年額一千萬圓を超わんとする勢にあれば我が當業者は今や全力を擧げて世界的大需要に應ぜんとするの形勢に至れり而して支那に於ける豚毛の產額は奉天市場の集產高のみにても年額八十萬斤其他四川山東各地の年產額を加ふれば實は數百萬斤に達すべく極めて豐富なり此の豐富なる豚毛を原料とし滿洲刷子工業會社は近く設立せられんとしつゝあり、同刷子工業は過般來より奉天撫順の有志を中心として計畫され最近大に進捗したる模樣なり資本金は一百萬圓（最初半額拂込）にて本店及び工場を撫順に置くに決定し目下發起人の顏觸れ選定中なれば近日發表せらるゝに到るべし

東都督府は同社に特別の保護を加へ又滿鐵會社は株式を引受け其他多大の援助を與ふるに決定したりといふ而同社發起人中には大阪當業者の錚々たる者及び奉天實業家の某辯人ありて同社は創立と同時に奉天大連に出張所を設け大阪には支店を開設し尚將來は沙河口、奉天、鞍山站等に工場を設置する豫定なりと

◈增資額三倍◈

奉天信託會社の業務盛況なり

奉天の急激なる經濟界の膨脹に伴ひ奉天信託株式會社は先頃臨時株主總會に於て資本金五萬圓を廿萬圓に增資の事を決定せり而して之が增資の株は三千株にして内二千株は舊株主に配當し一千株は近日公募開始の筈にて公募株中三百株は最低割增五圓を以て東省實業會社に於て既に引受濟みとなり居れば殘り七百株を一般より公募する筈なり從來同社は每期二割の配當を行ひ居り今回の增資村に就ても夫れ以上の利益を收め得る豫算にして隨つて同社株は現在七十圓を唱へ新株も極めて好人氣の中に申込多數あるべしと

◈又た新會社◈

東三省實業株式會社創立せらる

奉天東省實業株式會社創立總會は五月中旬頃開催の豫定なりしところ其の後同社創立事務は頗る順調に捗りたるを以て總會期日を繰り上げ來る五月四日奉天信託會社樓上に於て開催することに決定し目下之が準備中なりと

◈マッチ製造◈

黑龍省の支那人當業企業す

黑龍江省海倫の富豪楊澤晨氏は海倫十四道岡以東に一種の油松頗る多く燐寸の軸木に最も適するを以て之に着目し資本十萬元にて愈々燐寸製造會社を設立すべしと

◈活動寫眞館◈

奉天の新市街に理想的の建設

奉天も漸く人口の稠密を來しつゝありて活動寫眞常設館の必要を認めらるゝに到れる折柄、奉天西四條右田廣愛氏は今回之が計畫を立て建築費約五萬圓を投じて新市街に理想的なる常設館を設置すべく目下其筋に許可申請中なと（奉天）

◉留相場復活

◈獨占的時弊を矯正す

長春に於ける金對露貨相場は從來支那錢莊他の支配する處となり其爲め邦商は何れも大なる不利益を忍びつゝありしが昨秋長春取引所に於ても之れが改善の必要を認め市場に上場したる事あるも一時之れを利用するものなき爲め遂に今日迄中絕のまゝ過ぎ來りしより金對留相場は依然支那錢莊の小公平なる獨占的勝手相場を以て左右せられ堤らず邦人は多大の不利益を蒙り居りし處近時金資流用の增加と共に露貨對金市價は益々一般經濟界の重要なるものとなり來りしより長春取引所は茲に斷然喚起し過日邦商有力者及び支那錢莊巨舖の會合を求め懇談したる結果是等大手筋は結束して一旦立消となりゐたりし金對露貨を再び復活每日前後二回取引市場に上場せしめ公平なる市價を保たしむる事に決し去る二十日其の初相場を開始したるが當日は何分初日の事とて思はしき手合せもなかりしが各大手筋の出場等もあり漸々市場は大に緊張を示せり先づ前場は午前十時開始三百六十二圓にて寄付中值三百六十三圓を現はし二萬留の手合せあり後場は三百六十五圓にて引けたるが手合は七千留にして午後四時終了せり當日は僅かに二萬七千留の手合に過ぎざりしが今後之にして盛大になり公平なる市價の現るゝに於ては邦人の受くる利益實に莫大なると共に一般經濟界に及ぼす影響亦想像に難からざるべし（長春）

各地財信

◈金泉（慶尚北道）

殖産銀行金泉支店調査

三月中の經濟狀況は前月來强氣配より强硬の度を加へ持米筋も容易に手離さず穀物商側も徒らに買急がず此方面資金の需要減じたれど北鮮及び滿洲地方より大麥及び粟の移入をなすもの兆々あり其取引額は左したる巨額に非ざるも多少なりとも昂騰せる米價は徐々に下落し財界落付かず出穀杜絕し資金の需要起らざりし而して綿絲布界は相場時々變動ありしが大體に於て商調を持續し賣行鈍なき模樣にて是等取引資金も特別なる變化を見ざりき今後當分財界變動なき限り四月も變りなかるべし尚ほ地方米は大部消化したるに依り出穀極めて鈍なし滿洲粟も產地に於て輸送制限せられ移入微々たるが米價の下落に連れ粟大豆大麥共に下降せり一般賣行は前月と異らず

支那外商數（上海々關調）

日本（戶）二八一八（人）一四四、四九二
露國（戶）二、九一四（人）五一、三一〇
英、米、獨、佛、瑞、伊、白、西、和、葡 [illegible]
無條約國七戶（二一五人）尙瑞國人の家に無條約國人にして保護を受くる者七百十四人

◉道廳移轉工事

咸鏡北道廳の羅南に移轉工事は五月一日より愈着手する事となりたるが本年結氷期迄には廳舍全部を建築し之と同時に移轉する筈にて官舍は明年解氷期より建築に着手する筈なり尚ほ羅南川修築工事は之れまた土木局の手にて五月より工事に着手され大正九年度迄三箇年の繼續工事なりと（淸津）

◉一年生兒童の阿母さま方へ

◈兒童教育上の注意◈

四月一日から各小學校で新らしく一年生の入學を迎へた此一年生の兒童に就て兒童教育上父兄姉に對して聊か心得を與へて置きたいと當局者はみの如く語つた（不壞）

◈精神生活の轉機◈

兒童の就學年齡を滿六歲と定めてあるのは決して無意味な譯ではない、此年齡時期は兒童の身體が一時期を畫して感情、智力、意志の方面に於ても急速に發達する時であるからである、さうして今まで父母兄姉等の慈愛のみで成長し來つたものが、其の慈愛なる家庭から一步踏出して群集的な同輩關係の社會生活に入ると共に今までの「親」と云ふ慈愛の神の外に教師と云ふ崇敬の新人物に接するのであるから彼等兒童に取つては精神生活の一大轉機に接するのである

◈一生涯の出發點◈

隨つて此新しい刺戟を受ける彼等の感化は實に大なるものであるから兒童は事實に於て一生涯の出發點に立つたのである、此時教師の責任大なるは勿論、家庭に於ても其父母は一層愼重の考慮を拂はねばならぬが、動もすると教育と云ふ事に遠ざかつてゐた父母は十數年若くは二十餘年前自己の受けた教育を追想し今日の教育を同一視する弊があるが之は大に注意すべき問題であらうと思ふ

◈學校家庭の連絡◈

時代の變遷と共に教育の方法も程度も一變してゐるから父母は先づ我子の教育を託すべき學校の教育方法の大體に通じて置く必要がある、又之は所謂學校と家庭との連絡を取る上に於ても必要な根本的條件である、又兒童に善良なる習慣をつけるも惡い癖がつくも多く此時期に於てであるから成べく此時期に於て善良なる習慣をつける機會を捕へるが必要である、併し兒童の頭腦は餘り多くを一時に包容する力は無いから一時に多くを望むと却つて有害である、此時期に於て習慣をつけ易く且最も必要なものに就て二三の例を擧げて見ると左の通りである

◈注意すべき事項◈

新入學生の最も注意すべき事項は左の如くである

（一）小供の名を呼んで判然返事をなする事（一）簡單な事を命じ直ぐ其命令を實行させる事（一）間食を廢して食事の時間を一定させること（一）登校往復の際は必ず徒步せしめ衣服は自分で着、又は脫ぎ靴下駄等の始末も自分でさせること（一）衣服は成るべく薄着の事（一）朝は自分で顏を洗ひ含嗽をなし夜は早く一定の時間に於て挨拶をなさしめ就寢せしむること

殊に注意すべきは父兄母姉と兒童との會話で言葉を正確にし言語を豐富に且意思を發表する能力を養つてやることが必要である、又兒童が疑問を抱いて質問する場合は出來得る丈け小供の理解力に應じて說明してやるが良い、之は小兒の發明創作の能力を增進せしむる效果がある其他種々なる注意事項があるが以上述べたのを根本的注意として教育すれば良いのである

◉奉天太平記

◈女の密偵まで繰出して◈

奉天張督軍は昨冬以來盛んに新兵を募つて南征のために出兵したが其の兵隊は實に二萬以上に達するさうで、然も其の兵隊は大部分各鐵道沿線に駐屯して形勢ばかり窺つてゐる、未だ一度も戰線に立たない中にヤレ給與が不足だとか行軍が辛らいとか云つて實戰に參加することを恐れて今頃逃げ歸るものが多數に上るとのこと、それも無理がないことだ殆んど皆な軍事の智識なきが多數だもの……サテそれにしても張督軍は出すものは出したと澄ましてゐるか何うか知らぬが、御屋敷内の興京、通化、臨江、輯安、懷仁、海龍、方面の匪賊は此の隙に乘じて形勢頗る險惡に傾いて各縣知事よりは張督軍に至急討伐方を頻りに電請して來るけれどもモウ其の方へ出す兵隊がない致し方なく各鄕より自衞團を組織して、警戒すべしと各縣知事に命令したさうだ、此の間は又盜賊の奉天に潛入せりとの密報に接し戒嚴令を施行し通行人の制限をするやら密偵を派すやら大騷動だつたが夫に

風說は風說を生みて

盜氏は多數の軍用金を所持して已に奉天附屬地に侵入し匪賊亂黨等と糾合しつゝありなどと傳ふるよりて張督は又々軍署の護備を嚴命するやら、女の密偵を增派するやらそれは／＼は物々しい警戒振りをやつてゐる、張督軍は近く東三省巡閱使に任命の說ある時此事あり好事魔多しとの此の事か（奉天）

◉世間と反對に金鑛は不景氣

◈却て逃げ出す坑夫多し◈

平南唯一の砂金鑛として知られた順安砂金鑛の近狀を聞くに昨秋來非常に騰貴を重ねたる諸物價は人夫の生活に忽ち大影響を來し砂金を採取するも從來の如き利益を見ず反つて損耗を生ずること往々あるを以て目下人夫は徹底の折柄他に轉業する者多く隨つて同地砂金採取は近時頗る不振裡にあり市況不活潑を唱へ居れりと（平壤）

◉蒙古調査隊

支那政府は今回蒙古の大々的實地調査を爲す事に決し東三省陸軍測量局奉天班長周換奎氏は課員六十八名と共に奉天より鄭家屯に向ひ測量を開始し漸次入蒙する筈なりと（大連）

◉淸津組合議員

淸津學校組合會議員總改選は激烈なる競爭ありたるが其結果左の十氏當選せり（淸津）

藤井又一、田所源平、中田霖吉、田中源右衛門、二番瀬健太郎、別府鐵三郎、岩田秀可、深相市、林口乙松、光永喜太郎

△二十九日後場 大阪前止め二千六圓四十三錢後寄付にて中二千一圓九十錢先二十[illegible]

△中張一節[illegible]

平均値 一節 二節 三節 四節 [illegible]

…に消し止む△同日午前十一時十八分頃永樂町一丁目七十一番地徐容奎方にても軒下の藁より發火して…破壞したるが幸ひ乘客には傷害なく…

（但何番何號と明記に限る△宛名は京城日報社編輯局讀者文藝係

京城測候所 [illegible]

第拾壹期貸借對照表

自大正六年十二月一日 至大正七年五月卅一日

資産	
貸付金	九七、九八〇、〇三〇
預ケ金	九、五八八、五八八
假拂金	六九、六一六、〇八七
事業金	一、五五〇、〇〇〇
土地	一四五、一六三、〇七六
建物	三三、五二三、八二二
營業用什器	一、〇八一、四二二
受取手形	七四〇、九三〇
未收入利息	二、〇九〇、〇〇〇
金銀	五二一、九〇四、二〇〇
前期總損金	四六五、八二七
計	四三四、一九四、七〇五

負債	
株金	二五〇、〇〇〇、〇〇〇
積立金	二三、三〇〇、〇〇〇
別途積立金	八六、〇〇〇、八〇〇
前期繰越金	一、五七六、八九〇
假受入金	五、九九三、一四五
借入金	一四一、一二四、六六五
借入公債	三、〇〇〇、〇〇〇
計	四三四、一九四、七〇五

總損金ハ全部後期繰越トス

大正七年四月十五日

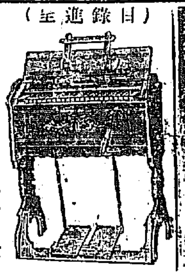
京城府旭町二丁目十番地 朝鮮勸農株式會社

石油發動機 八馬力 東京池貝 壹臺
ポンプ セントル、ヒュゲル 口徑拾二吋 壹臺
鐵管 直徑 貳拾五尺 ヘンドフートバルブ付
右割安賣却 來談願上候
機械材料商 京城南大門通五丁目 中村幸商店 電話二二五番

新式灸術 熱くなく灸あとにかたも付かず諸病根治す 京城本町二丁目釘本商店前入坂下 伊藤灸術專門院

弊店は東京大阪市場に第一流の特約店を有し最も迅速に確實に御取扱可申候間多少に拘らず御用命之程願上候

山葉、鈴木製樂器代理店 各樂器 御小賣 京城本町二 振替京城五二一五 セヤマ樂器店（目錄進呈）



朝鮮名產 金剛飴 金剛山 京城本町二丁目 電話四七五 龜屋

肥料 マルカク商店 釜山驛前 電話長八三 振替三九二番

乾物 糖粉 煙草 雜貨 卸問屋 釜山 山西商店

朝鮮特產藥用人蔘配合 蔘精葡萄酒 ニンジンキナブドウシユ

酒精 壜詰 燒酎 西貢米 碎米 大豆 大麥 砂糖 麥粉 食料雜貨 釜山理立新町 [illegible]商會 電話長一〇八番

雜貨問屋 月刊商報呈送 釜山大倉町 明治屋本店

洋酒 罐詰 糖粉 卸商（月刊發行）釜山 あづまや商店

スマート 釜山商店案內

御用意！御用意！ 起死回生 寶丹の御用意を！ 東京下谷池之端 守田治兵衛

質 倉庫完全 債券買入 京城櫻井町二丁目 杉本質店 電話三一〇三番

明廿六日春季慰勞ノ爲メ臨時休業仕候 京城本町 三越吳服店

支部出張所長數名募集
金融圓滿ノ現今ニ於テ最好機ナル最モ有望簡易ニシテ無經驗者ニモ優ニ月收參百圓以上アリ希望者ハ履歷書戶籍謄本及寫眞等ヲ添ヘ急ギ本社ヘ申込マレヨ人數ニ制限アリ滿員次第締切ル故成功ヲ望マルヽ士ハ一時モ早ク申込マレヨ
東京市丸の内有樂町一の三 大日本勸業合資會社

失火謝禮廣告
四月廿日夜當工場失火の際は早速御馳附被下消防に御盡力の段奉感謝候混雜の折柄尊名相伺洩れ有之哉も難計乍略儀以紙上御禮申上候
東洋コンプレスソル會社 兼二浦出張所

御まちかねの五月人形 澤山荷著致しました 階上陳列 本町 夏川小間物店

內科 小兒科 皮膚科 外科一般 婦人病 花柳病 京城黃金町二丁目（長橋通角） 朝鮮病院 診療（入院隨意）（電話二八三七番）

優等 澤亀 本火酒 發賣仕候 宅合名會社 淸酒 灘工場吟釀

實物應用五月鯉のぼり 水盤の鯉 柱掛の鯉 籠入供物用鯉 製造元 李王職指定剝製所 京城旭町一丁目 名舍宗勝
五月人形 玩具販賣 一手販賣 京城明治町 吉岡玩具店 電話一八四〇番
其他御好に應じ申可く候 右は化學藥品應用製造品にて腐敗を防ぎ永遠に保存を保證仕候間御用命の程奉願上候

專賣特許既願 山林果樹園藝用害蟲驅除劑 ◎シーエス液 松毛蟲に特効あり 說明書御申込次第送附 京城旭町一丁目 製造發賣元 山田商店 電話一〇七八番 振替京城三一九六番 龍山電話四二四番

塚原卜傳

悟道軒圓玉口演

第五十六席

番頭も驚ろいて『番『成程どうもお氣の毒な事でございますね、そんな工合ぢやア了ひには塚原先生は死んで了ひませう』○『まアあの分ぢやア永くは保たねえ、握飯の三ツや四ツで命が永く續くもんぢやアねえ、第一四方は石壁みで之れから冬になると水が漏つて牢内は一面に氷が張詰めてしまふ、まるで八寒地獄の畫を見るやうだ、何だつてお前遣播様ならイザ知らず石の上に居られるものぢやアねえ、まア永く生きても二月かそこいらだらう、其れも此れも謀反人の佐竹彈正の指揮で主人の事は悪くいへねえが近藤といふ人が慾で固まつた人間だからそんな事をする人だ上を見習ふのが世のならひ、まア主人がそんな道に外れた事をするのに仲間風情の乃公達が餘まり堅くしちやア濟まねえから御前の所の勘定も、マア踏倒して拂ふめえと決心したんだ』番『冗戯いつちやア不可ません』と話しをして居る『傍で聞いて驚いた秋山伴作、憎は若殿小太郎様は此小田原の石牢中にお在なさるか、之は一大事、少しも早く其石牢を打破つてお助け申さなければならんが、併し之れは自分一人の力では迚も及ばんハテ困つたもの上泉の一門に相談すれば時間がかゝる、其中に小太郎様に萬一の事があつては何にもならず、一時も早く救ひ出すには何か手近い所に加勢の者がと腕拱いて考へましたが不圖胸に浮んだは、自分の親父磯右衛門といふ者が伊豆の眞鶴で漁夫をして居ります、之れは親父の處へ往つて一つ相談しやう親父は小田原の城内へ若い時分出入をして、案内も心得て居るだらう、何か宜い考へもあらうと思ひつきましたから勘定を拂つて其處の家を出て遠からぬ伊豆の眞鶴、親父の家へドン／＼急いで參りました、眞鶴ケ崎は其頃至つて淋しい所、漁夫許り住んで居ります……見覺ある我が家の門『伊『御免』と聲を懸けると『磯『ハイ誰方』と出て來たは親父の磯右衛門、七十五六になる老人、誠に元氣な人物今は老後豐かに船の五六艘も持つて暮して居ります『伴『オ、父上ではございませんか、久しぶりでお目に懸りました伴作でございます』磯『オ、誰かと思つたら悴であつたか、イヤ久しく遇はなかつたのでまるで見違へてしまつた、マア／＼よく來て呉れた大層立派になつたな、熊吉や熊吉……熊『ハイ』磯『兄の伴作が戻つて來たから早く此方へ洗足の水を持つて來い、サア草鞋の紐を解いて此方へ上れ』伴『ハイどうも誠に御無沙汰いたしまして一日として思はぬ日はございませんが何分主人持ちで思ふに任せず、存じながら遠々しくいたし申譯もございません』まアお父上も御壯健で結構でございます』磯『イヤ有難てえ事に身體は丈夫で藥一帖服んだ事もねえ、喜んで呉れ弟の熊吉が、此頃一ぱし稼いで呉れて乃公は樂隱居、網でもすくのが道樂になつた、別段其日に困ることもなく暮して行かれる、之れも御主人土佐守様のお庇陰一日として有難わと思はねえ日はねえ、お前も大層出世をしたと聞いたがどうして今時分戻つて來たのだ』伴『何からお話して宜いか分りませんが、常陸のお國表で容易ならざる珍事出來いたし、大殿様は惡人の手に懸つて落命遊ばし、若殿帶刀様も御切腹、私は御次男小太郎様の行方を尋ねて出立いたし、其途中之々斯々の次第と一伍一什の物語りをいたしましたから磯右衛門も承はつて大に驚ろき』磯『何と土佐守様帶刀様は御落命、小太郎様は石牢へ……』。

外科一般 皮膚科 泌尿器科 花柳病科

院長 安部修三

京城永樂町二丁目金光教會隣

安部醫院 電話西一九番

暦 四月廿七日 九星

暦三月十七日甲辰

本命八白 及 建 先勝

▲八白● 合點のゆかぬ事有り日新事見合東方は吉 縁談良 ▲九紫● 理屈の日 轉居入學に吉 求職採鑛開業等… ▲一白● 押込主義の日 有日新事手控方は吉 ▲二黑● 餘裕のなき日 負債に用心せらるべし ▲三碧● 有日新事手控方事は吉 保證紹介等を禁ず 談合になる事有る日 新事手控事は吉 ▲四綠● 爭か防がるべし 辻褄のあはぬ事有 ▲五黃● 日新事手控方事は吉 交際に注意の事 ▲六白● 大損の事有日 新事手控事は吉 穩なる日 轉居 行 商旅行 名弘 ▲七赤● 利の日 轉居入門 出漁 求職 家作 金件 婚禮 漁業 組合を結ぶ等萬吉

◎月やく

月やくとまり不順のため食物胸につかへ時々嘔吐を催し足腰下腹痛み逆上頭痛等を發して何となく心配の方は… キカヌ他の藥に迷はず私方へ返信料添へ御申込あれ害なくおりる妙藥を人助けにお知らせす。

東京四谷信濃町停留場前 森田屋

周易 明治町二丁目 介石堂 岡村介石

演藝案內

大正館 櫻井町 電話八七三

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店

當る廿六日より特選大寫眞 [illegible]

◎新派大悲劇『鬼丸花太郎』 [illegible] 全五卷

◎泰西大活劇『明光』 八千呎 [illegible]

○新派大悲劇『藝者一代』 全五卷 [illegible]

黃金館 電話二二六三七 二三六六

大然色活動寫眞株式會社京城營業所 [illegible]

當る四月二十一日より特別三大寫眞提供

▲滑稽 兵夜中頂

▲新劇 有馬音頭

▲人情活劇『母の愛』 [illegible]

▲新派悲劇『殘る母娘』 [illegible]

浪花館 明治町二丁目 電話二六〇番

○京阪落語發會和曾一行 四月十七日より開演

今回内地到る處大好評を博せし落語… 一行若手揃ひ大一座を招聘致候間何卒陸々御來館之程願上候

▲落語(しん玉) ▲滑稽掛合(社中) ▲落語手踊(圓瀾) ▲ものまね(遊窓) ▲落語手踊(歌之助) ▲落語(しん鏡) ▲少年落語音曲手踊(小團治) ▲中入當一派十八番の電氣應用所作事壽獅子 ▲落語音曲(花丸) ▲落語手踊(木鶴) ▲大切喜劇

有樂館 電話(階上)五九七番(階下)二〇五番

活動寫眞常設館 有樂館

東京小林商會 米國ユニヴァーサル會社 特約

當る四月廿五日より公開特別大寫眞

▲滑稽名探偵

○舊劇『國定忠次』 全六卷

○職場京話『召集令』 全三卷

米國ユ社ブロードウエー映畫

○新派悲劇『露の心』 全四卷

[illegible]

かぜねつに 一番よくきく キナピリン

○キナピリンは○感冒○熱病○頭痛○インフルエンザ○リウマチス○間歇熱(マラリヤ)等に大効あり

定價 二包入拾錢 五包入廿五錢 八包入三十錢 十五包入五十錢 三十二包入壹圓

大阪市堂島元映橋 本舗 髙橋盛大堂藥局

同 心齋橋博勞町 髙橋盛大堂分店 發賣

●各地到る處の藥店に販賣す

りん病 ばい毒

ルーデサック

淋病特効藥 一週分 [illegible]

京城永樂町二丁目交番北 東京ドラッグ商會本部

肺藥 責任販賣

[illegible]

製造元 長崎 小倉天光 … 發賣元 長崎 小倉 本願寺說敎所

定價一圓五十錢、三圓五十錢

にきびとり 美顏水

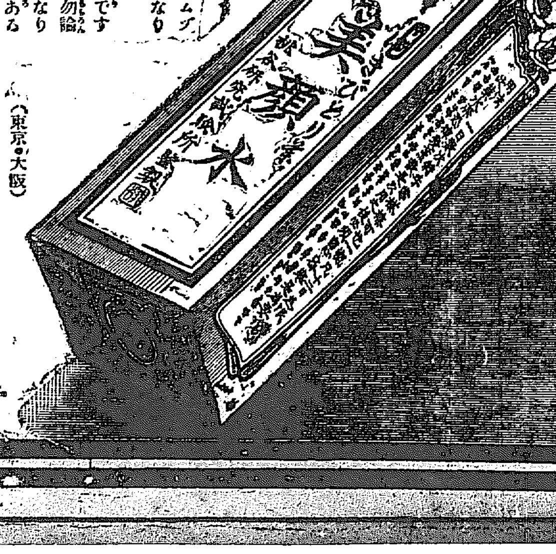
心ある家庭には是非常備せられたき皮膚衞生藥

(一)ニキビ、吹出物―婦人は固より男子にても、ニキビや吹出物の多いのは見よいものでありませんが、此藥は頑固なニキビや吹出物に對しても奇効を奏しますので信用を博して居ります。

(二)蚤、蚊、南京虫―其他毒のある虫に螫された時、此藥を附けますと、不愉快な痛さ痒さを覺わず、螫された跡が腫物等になる事がありません。蚤や蚊で夜お子方のムヅかる時等此上ない重寶な事がおわかりになります。

(三)皮膚を美しくす―斯ういふ藥ですから、常用すればニキビ吹出物を防ぐは勿論皮膚は次第に拭はれ磨かれた樣に美しくなり容貌の美を増す力が强いので、此藥は心ある家庭には常備せられて居ります。

(定價特大瓶壹圓・大瓶五拾錢・中瓶廿五錢・小瓶拾貳錢)



(東京・大阪)

發賣元 桃谷順天館

生彩ある 皮膚の健康美は 青春の花!

潑溂たる 運動の好季節は 彌生の春!

今方に愛用盛んなり

品質本位 花王石鹼

花王石鹼 香水製造元 東京馬喰町 長瀬商會

花王石鹼 日本橋 ... 代理店 大阪安土町 大崎組商會

京釜線 南行 北行 同 京義線 湖南線 京元線 京仁線 釜山 [illegible]

京城日報

二十六日朝刊（朝刊夕刊を併せて八頁）

定價 本紙一部金五錢　一ケ月金八十錢　三ケ月金二圓三十錢
廣告料金 七號活字一行金四十錢
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社
印刷人 小川三之介

京城日報

西部戰線の爭鬪

去月二十一日以來、西部戰線の爭鬪甚だ劇甚なり、敵は其全力を一處に集中して、五日乃至七日猛烈に攻進し、若干日休止狀態を示して後、更に新たなる方面を探びて突襲し來る、英佛軍は其陣地を撤して退きたるは、これ抗爭するの甚だ不利なるを見て、已を得ざるの處置を取れるものに外ならず。

獨軍猛進、殆ど米佛兩軍の連接點を突破せんとするや、味方は之を拒ぐに努めたる甲斐ありて、其連接を全くし得たるのみならず、此經驗に鑑みて、軍事上の統帥を改め、フオッシュ將軍をして、聯合軍を一統せしむ、今日將軍の手に存する豫備軍、甚だ強大なるものありと云へば必ずや機を見て之を用ゐて、力を極めて進み來れる、敵の死命を制するに至るべきと疑はず、近報聯合軍其砲兵を集中して、ソンム、アブズ兩河畔に大砲戰を開始して大なる攻擊を加へ、最後的に防禦的態度より一轉して、逆に攻勢を取らむとするものならずや。

去月以來の經過に就て之を見るに、戰鬪は必ずしも味方に利ありとせず、就中英吉利軍は、退却又退却、佛蘭西、白耳義國境戰線に於て最も後退し、今や既にイブル東方の地を敵手に委したり、今にして挽回する所なからしめば、或は遂に海岸まで壓迫せらるゝの危險なしとせざるなり、數日前英國首相ロイド、ジョージ氏が、衆議院に於て、敵の目的は英軍を全滅するにありと語れるは、則ち此形勢を指すものに外ならず、然れども敵の目的が英軍を全滅するにあるが如く、味方の目的も亦獨軍を全滅するにあり、一進一退は軍事上の常なり、今退きたりとて敢て落膽することなく、英佛軍たるもの其力を一にして、敵の進勢を抗拒するに努めざるべからず。

且此度の爭鬪の情形を案ずるに敵は莫大の大軍を集中して、乾坤一擲の大決戰を開始したるに拘はらず、其進勢極めて遲々、復た未來の獨軍の面目なし、現に英佛軍に降りたる俘虜に就て之れを取調べ、若くは我味方の手に落ちたる作戰經過に關する文書に依りて之れを推すも、彼の豫定經過の二日の行程は、五日乃至七日を要するを視ても、其一斑を知るを得べし、蓋し獨逸は、今日其全力を西部戰線に傾倒するといふも、其兵の素質頗る比して劣惡を極め、殊に數年に渉る惡戰苦鬪にて、其將校の少壯者は既に悉く死去若くは病者となり、今日其事に當る者は皆老年者豫備後備に屬する者なり、其すら定員に足らざる爲めに曹長をして、中尉大尉の任務を行はしむるといふ爲體なりと云ふ、乃ち今日其進勢の甚だ遲緩なるは、誠に已むを得ざる所にして、遲緩ながら猶且幾分の攻進を續け得るが不思議なるほどなり、敵は今猶ほ數十箇師團の豫備軍を有すと稱するも、其の實勢力は略ほ推して知るべく、我味方にして努力一番其進勢を挫かば、形勢は此に一變すべきや勿論なり。

王世子殿下御慶事の記念として

山縣生

○前の日曜日私は小供等を伴れて昌慶苑へ花見に出かけた。門から植物園迄の道の兩側に植ゑられてある數十株の櫻樹は今を盛りと咲き亂れて其美しさは譬へやうもない。其白雲の如き花の下を嬉々として行く人の群集を見るにつけ、私の胸は李王家に對する感謝の情で滿ちた。人を喜ばすは最大の功德である。昌慶苑を開放して年々幾萬の人に慰樂を與ふる李王家は必ず其功德によりて幾久しく榮ゆるならん。

○見よ、天の惠みは既に李王家に豐かである。併合以來李王家は皇室の優遇を受けて安泰此上なく、昔の不安は消ねて痕なき過去の惡夢となつた。世子殿下は健かに御成身あらせられ、既に學業を卒へさせられて、今秋は宮家より姫君を娶せらるゝ筈である。李太王李王兩殿下の御滿足さこそと察せらる。我等も亦幸福を感ずるのである。

○思ふに李王家に於ては今秋の御慶事に際し、衆と歡喜を頒たんが爲めに何か公共の事業に貢献する計畫が立てられつゝあらん。如何なる計畫が立てらるゝやは我等の知らざる所なれど、若しいまだ確定されて居ぬとすれば、私が敢て進言したき勸告を容れ、明治町に在る李王職所有の空地を小公園に改造し、之を京城住民に與へられんことを。

○恐らく世子殿下御結婚の記念としてこれ以上の善き事業は他にあるまい。京城の存在する限り其公園は存續して、現に此地に住する者は勿論、其子孫皆李王家の幸福に浴すべく、等しく李王家の幸福を祈るならん。

○人の後代に遺し得る最大のものは偉大なる文學と藝術と及び土木とである。そはこれ等は數百年を經るも滅びず、幾代の人が其惠福を享け得るが故である。天才の人は須らく文學藝術に其力を現はすべし。財力ある人は公共の土木事業に其財を喜捨せよ。

●西洋立憲の由來と我國立憲の精神(九)

法學博士 上杉愼吉氏講演

政治の目的は、人民の幸福を增進するに在りと云ふ世界共通の事のみを考へ、如何にして其の目的を遂成するかの點に於て、我と彼とを混同し、彼が人民の力に依つて之を行ふと云ふ事を直ちに

△我に持つて來る如きは、序なから茲に申して置くが、近來『民本主義』なる言葉が、世の中に多く用ゐられる樣になつた。此の民本主義なる語に就いては實は私が大變に責任がある。此の間必要があつて調べて見たが、大正二年の初頃……元年には先帝が御崩御になつて御代が替はり、色々政治上の變動のあつた當時、私は或る雜誌に『民本主義』と云ふ事を書いた。其の意味は只今申述べた樣な譯で、政治は民を本とする。即ち政治の眼目は人民の爲と云ふに在ると云ふ事は世界何れの國に於ても同一である。併しながら歐羅巴に於ては其の目的は『民本』でなければ遂し得られない。故に政治は人民自ら之を行はねばならぬのである。然るに我が國に於ては『民本』と云ふ事は

△天皇の御力に依つて遂せられ又遂せられつゝある。是れ彼我團體の相異る所であると論じたことがある。私の此『民本主義』と言うたのが、其の頃新聞雜誌で政論を爲す人々が之は具合の良い言葉であると云ふので、早速應用し『民主主義』を『民本主義』と言ふ言葉で、言ひ表はす樣になつて來た其の頃は大した事もなからうと思つて居たが、近來になると民本主義と云ふ表面體裁の良い言葉を以て、民主々義を言ひ表はす事が大分擴く行はれて來た。之に就いては私自ら責任を感じて詫らねばならぬ事を言出した。言はぬ方がよかつたと後悔致して居るが、世間、民本主義と申すのは概ね

△民主主義の謂であると考へになる必要がある。民主主義と云ふ事を區別して考へて戴きたいと申すのは、政治の上に於いて民を本とすると云ふのは彼我同樣である。併しながら民主でなければ『民本』の目的を達し得られないと云ふのは歐羅巴の國柄であるが、我が日本に於ては天皇の御政治で最も民本の目的は遂せられる。而して歐羅巴人は民主と云ふ事に依つて、果して民本の實を擧げて居るかどうか、之は色々長く申さねばならぬのであるから、今日到底之を言ひ盡すことは出來ない、此の點に就ては私が從來

△色々な論文に於て、西洋人の代表制度並に直接民主の制度は其の運用の上に於て所詮彼等の理想を貫徹し能はざる事を屢々陳べた事があるから若しもさう云ふ點に興味を有せらるゝ諸君はお讀下さる事に之を讓り度い。

潜艇効果減少
聯合國の對應策

獨逸は潜水艇戰開始以來其豫期する處の成績を擧ぐる事能はざりしと雖も兎も角聯合國の通商航海に多大の打擊を與へたる事は明白なり然れ共聯合國の對應策も同戰開始以來數閱月に亙る經驗により甚だ巧妙となりし爲め被害漸次減少し來りしが殊に最近に至り其被害の減少顯著となれり而かも敵艇は依然として活動し居るに其効果の擧がらざるは聯合國が各自國の船舶を護衛し又は船舶武裝の行渡れる結果なるが又一方には近來敵艇は魚形水雷の使用を節約し居る模樣あり即ち千五百噸以下の船舶に對しては之れを攻擊せずして千五百噸以上の船舶のみを襲擊する傾向を示せり然るに是等船舶は殆ど全部無線電信を設備しありて潜艇の襲擊を受けたる場合には直に付近の船舶に急報をなし他船舶は此の報に接して避難し擊沈を免かるゝを得又危險區域航行の船舶には婦女子を乘船せしめざるため潜艇に襲擊さるゝも船長は婦女子の爲めに船舶行動の自由を束縛さるゝこと無く斷乎たる處置を採るを得要するに被害の減少は敵艇勢力の衰退に依るに非ずして寧ろ其對策の宜しきを得たるが爲なりと云ふべし因に昨年の敵艇擊沈數は十二月に於ては同年四月頃の約三倍なりしと云ふも其擊沈數が獨逸の建造數より多數なりしとは想像せられず獨逸は戰爭前に於ては專らキール軍港のみにて潜艇を建造しつゝありしも戰爭開始後は國內十二三箇所の造船所にて之を建造し其造艇最大能力は一年に約七八十隻なり而して現在獨逸潜水艇の總數は約二百五十隻位と推せられ內四五十隻は地中海に於て活動せるものにて其威力は依然縮らざるも其被害の減少したるは顯著なる事實にして今や獨逸の潜水艇戰策も漸く終末に近づける觀なき能はず

順化院を見て(三)

槐翁

○京城も衛生設備の整頓に伴ひ、恐ろしい傳染病も、漸次減少する傾向を示して來たのは、社會公衆の爲め、慶祝に堪へないが、この傳染病が、人間社會から絶對に無くなることは到底も望まれぬことである。して見ればこの順化院は、京城の公衆衛生の爲めに、無くてはならぬ大切な病院であることは多言を要しない。

○處で甚だ遺憾に堪へぬのは、この順化院の設備は、まだ完全と云ふことの出來ぬことである。不完全だと云つても、備はるべきものが、備はつて居ぬと云ふのではない。備つては居るが、それが頗る粗末な不完全なものであると云ふことになる。一例を擧ぐれば、洗面所や、便所の如き、停車場のより劣ると評した人があるが、實際適評であると思はれる。

○その中でも、最も甚だしいのは、裏手の臨時收容所に充つる朝鮮家屋であらう。殆んど設備を施して無いと云つても差支ない位であるから、これは寧ろ問題にせぬ方が却つて賢い方かも知れぬ。然し今年の傳染病の流行季に向ふのであるから、愈々と云ふ時になつて、狼狽をせねばなるまいから、是れも放任して置いては、識者が許すまい。

○それにつけても、このお粗末極まる不完全な病院を、完全なもの以上に面目を保たすべく、掃除から、消毒に至るまで、出來るだけの方法を盡して、治療の上にも、看護の上にも、充分の誠意を盡して、入院患者に不快の念を抱かしめぬやう務めて居る院長以下看護婦の獻身的態度には、特に敬意を表して置かねばならぬ。

○設備の不完全なのは、要するに經費の問題である。吾人は何等かの方法を講じて、モ少し立派な設備にしたいものだ。京城府にはこれ以上の設備を施す餘裕がないと云ふ事なら、世の慈善家の寄附を仰ぐとか、何とかの方法を講じたらば、其處に何かの光明を見出されぬこともあるまいではないか。

○或る人が『李王職に補助を仰いだら李王殿下の御慈心も廣く行渡るであらう』と云つて居つたが、これは誠に妙案で、當局の一考を煩したいものである。それに就て世人は『李王職は、各道の慈惠醫院に、毎年二萬圓の補助をして居るから慈善事業はこれで一切御免を蒙ると云ふのが口實になつて居るから、到底も駄目だらうと云ふ』のもあるが、それは李王職を餘り馬鹿にした酷評と云ふものだ。

○李王職には、あれ丈大な豫算があり、その所屬の山林其他からも年々少からぬ收益があつて、當局者は寧ろ金の費ひ所に頭腦を傷めて居る位であるから、相當の慈善事業で、李王殿下の御思召にも叶ふやうなものならば、決して斯かる隨なことを言ふものはあるまいと、吾人は深く信じて居る。

○兎にも角にも吾人は、この順化院を理想的の避病院にしたいものだ。○半島の首府たる京城府の公衆衛生の上からも、その面目の上からも、是非講究せねばならぬ緊急問題ではあるまいか。

墨堤觀花　圭齋　星井郁
香風吹度墨陀春。一帶櫻雲腦殺人。莫漫題詩催羯鼓。評量恐有汚花神。

東台春夜　桜能　諸井時
風微夜靜月朦朧。萬朶花開春不寒。有客醉餘吹笛罷。香雲深處倚闌干。

夜市廣告
五月壹日開店
出店者は場所柄非常の好人氣に付二十八日に『ノ切り』候故申込者はチクレヌ樣一日も早く申込あれ
若草町夜市事務所

實業之日本
工場の人商店の人一大必讀文字
工場經營改善實驗　少壯實業家 MN生
…不經濟のやうに見ゑて大に經濟となり、不生産費が却て大生產費を生み出し、想はぬ處に大利を生じ氣の附かぬ大損を發見せり
對外的工業と能率增進　農商務省工場監督官 勝田一
現代二種の青年 店員の模範教育　堀越學士 堀內新泉
貿易は變調か
南米同胞(サンパウロ)より手紙(偽りなき彼等の告白に開け)　母上よ聞いて下さい…西村要馬
航海中の有樣を御通知申上候　松永より子
明年は純益二千圓の豫定に候　高見明陸
最も早き成功の名案有之候　谷口見松
開墾地生活狀態寫眞入り
椽の下の力持はつまらぬか　社長 增田
無理な生計　新渡戶博士
危險思想撲滅策　浮田博士
精神統一の實驗　記者
大害を招く素人療治　堅田學士
平沼兄弟　素水
農家副業 新藥草の栽培　醫學博士 宮島幹之助
音聲にて人の性質を鑑別する新研究　市業生
戰後經濟戰爭と其準備　法學博士 河津暹
病根一掃體力增進 乾浴療法 第一に攝むべき事 第二に慎むべき事　創案者 石原保秀
乾浴二ケ月にて妻の重症を癒す　木村鑑三
四月十五日發行 十五錢 稅一錢 半年二圓五十錢 東京京橋 實業之日本社 振替三二六番

東京電氣博覽會に於て大賞讃を博しつゝある
神東 電熱器
電氣ストーブ、風呂、アイロン、湯沸、タンポ、吸入器、ハンダ鏝、ホツトプレート、其他電氣を應用すべき總ての電熱器
一手販賣 京城府太平通二丁目二百二十六番地 株式會社 常盤商會朝鮮營業所 電話長五七六番
▲型錄御申越次第送呈可仕候

日鮮會話精通
朝鮮督府裁判所書記兼通譯生 普成商業學校講師 西村眞太郎著
袖珍總クロース頗美本 七百餘頁 定價金壹圓參拾錢
一、世に朝鮮語の會話に精通せられむとする人士は速に本書を購求せられよ
一、殊に同氏の前著「朝鮮語會話」を研究せられし人士に取りては必讀の續篇とす
一、本書の內容は貧弱ならず、試みに其の一端を示せば
イ、單語の數は實に八千以上なり
ロ、難解の副詞に適譯を附したるもののみにても五百とす
ハ、內鮮人間に膾炙せる俚諺の適譯計六百
ニ、譯方正確にして且つ嶄新
一、本書は各學校教師及學生各裁判所警察官署通譯生銀行會社並に講習會に對し宿年の渇望を充すに足る良著たり幸に一本を机上に載せて御愛讀の榮を賜らむことを祈る
發行所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部
取次所 大阪屋號 巖松堂

流行世界
五月號出來 毎月一回一日發行 定價貳拾五錢 郵稅一錢
流行其物に善惡は無い
婦女子に牛棒を奬む
○歐米で流行せる色彩配合裝飾法
○現代の婦人と流行の觀念
○半襟の色彩學的基礎
美容上に於ける日本人の缺點
紫紺の校服を造る迄
○神經衰弱と玄米食
○新時代の婦女子
○端午と粽の飾り方
特別一大懸賞募集
愛嬌を婦人美
當世流行兒月旦
婦人と仕舞　婚禮用の新衣裳
心の衛生　女學生の母親へ
香水の話
死美人の加害者を搜索した話
流行から見た女の群
○必ず美しくなるお化粧法
○流行に對する婦人の覺悟
○生花に現はれた花菖蒲の姿
義士大石の寵妓
外傳 狂獅子
長編小說
東京神田區表猿樂町二番地 振替口座東京四〇三四七番 國粹社

廣告本品特色 ペン換へクリ
本略画は細尺にて形狀寸法金ペン萬年筆と同型なり 金七拾錢の物を特價金四拾錢にて提供す 此際送料無料
明盛進堂 東京市小石川區原町一四七 振替貯金東京三八〇一〇番
兼用水晶萬年筆 大割引

時計及蓄音器卸商
弊堂創立明治二十八年
京城黄金町二丁目 喜多金光堂 電話一〇一五・替振京城七八二

◎在哈市三露西亞新聞 三國領事團に抗議

當地のウエルストニクマンジユリー、ノウオスチジーズニ、ツルードの三露西亞新聞は日英佛三國領事團に對し聯合團の正義は武力よりも強しとの信念は露國民の理想にして吾人はレニン政府が不信不義の行爲あるに不拘露國民と友邦の關係を維持せる厚誼に對し深く滿足の意を表する處なり而して並に吾人は哈爾賓に組織されたる一部軍人團体の不法行爲に對し三萬の讀者を代表し彼等軍人團體を援助せる各國にして彼等の行爲に對し明瞭なる態度を說明せざれば或は各國の責任を問はざるべからざるに至るべきを警告せんとすとニプレシコフ、セミヨノフ軍に對する日英佛の援助につきて抗言し近來極東委員會に盾を突く者の續々捕縛さるゝを不法行爲なりとし場合によれば三國の責任を問ふ事あるべしと極めて皮肉なる通告を發せり之に對し三國領事中には之れ吾人を威嚇するものなりと云ふ者あるも結局若し不法行爲ある場合之を放任せば延いて一般の秩序にも影響すべきを以て機を見てホルワット將軍又はプレシコフ司令官等に注意を促すを適當とすべしと云ふに一致せり之に就き注意すべきはノウオスチジーズニ、ツルードの二新聞は猶太人の經營なるを以て意に介する必要無きも東清鐵道機關紙たるウエストニクマンジユリー紙が近來機關紙たる色彩を脫し來りつゝあるは鐵道從業員の過激派化せるを示すものなりと傳へらる(哈爾賓特電)

◎哈爾賓市民大會 極東委員會に對する過激派の態度

哈爾賓の新聞紙は二十六日鐵道集會所に市民大會を催す事を豫告しつゝあるが是れ即ち曩に三露國新聞が日、英、佛の三國領事に對し警告を發せる所謂一部軍人團體の不法行爲に反對の氣勢を揚げんとすと謂ふにある如し之れ即ちホルワット長官、ポポフ副領事、プレシコフ司令官、セミヨノフ大尉等を打つて一丸とせる所謂極東委員會に對する猶太人換言すれば過激派一派の行爲が遂に露骨となりたるを證するものにて茲に三露國新聞が日、英、佛三國領事に皮肉の警告を爲せる所以も亦知るに足る唯だ此際憂ふ可きはホルワット長官一派と動もすれば隔離せんとする鐵道從業者が一部野心家の煽動にて同盟罷工を爲すが如き事あらざるやにあり(哈爾賓特電)

◎反過激派軍ダウリヤを奪取す

最近セミヨノフ軍は其進出を控へ居りしも數日來形勢の切迫と共に廿二日滿洲里より進出し難無くダウリヤを奪取せりと(哈爾賓特電)

◎西伯利獨逸俘虜の撤退

過激派政府は東部西伯利より獨逸俘虜を速に撤退するの措置を執りたる旨無線電信を以て獨逸外務大臣に回答を發せり(哈爾賓特電)

◎英國艦隊奇襲成功

英國海軍省發表=英國艦隊は二十三日早朝獨逸驅逐艦、潜水艇をキチタルオスタンド、ゼーブルツゲに奇襲を遂行したる後歸還せり今迄に傳へられたる少許の情報に據れば奇襲は相當の成功を收めたり英艦隊は援護艦の外若干隻の補充艦及び舊式の巡洋艦六隻より成り中五隻はコンクリートを滿載し閉塞艦として擱坐したる上命令に依て爆破せられ乘組員は退去したるが目下死傷者に就きての報道無し(倫敦電報)

◎滿鐵社債賣切

豫て日本興業銀行にて賣出中の滿鐵社債八百萬圓は二十五日賣切れとなりたり(東京特電)

◎有賀三井物產理事

有賀三井物產理事は二十五日老虎灘に於ける鮮銀の午餐會に臨み午後五時發急行列車にて哈爾賓に向ふ(大連特電)

◎大阪財界便り

▲物價暴[illegible]と金融[illegible] [illegible]限合發表による輸出の[illegible]てきにあらざる[illegible]りたるに起因するに外ならず然も[illegible]貨現在高が十一億六千萬圓と前月[illegible]に比し正に八百萬圓の增加を算し[illegible]一面に於ては對外貿易狀況が二[illegible]十六圓臺より漸次昂進的[illegible]麥作の不良等悲觀材料の續出に[illegible]の狀勢にあるが前週來に於ける大[illegible]實現するに至れり而して財界の近[illegible]阪商業會議所調査によれば各種[illegible]勢は越月後地方貨出の回收により[illegible]三圓又月起は取手出手共に多から[illegible]八千圓にして前週末に比し六百九[illegible]五毛乃至[illegible]來の日銀貸出高は千八百八十四萬[illegible]

九州視察團畫報

(上)島津公磯の濱庭園に於ける團員(下)團員の櫻島上陸

◎勅令公布 米價調節に關する

二十五日官報號外を以て左の勅令公布されたり(東京特電)

外國米輸入等に關する件

第一條 農商務大臣は時局に據る米價の變動を調節する爲め左の事項を爲す事を得

一、外國米、朝鮮米又は臺灣米の輸入、移入、買入又は賣渡を爲す事

二、農商務大臣の指定したる條件に依り外國米、朝鮮米又は臺灣米の輸入、移入、買入又は賣渡を爲すものに對し補給を爲す事

第二條 前條第一號の買入又は賣渡は隨意に契約を依る事得

附 則

大正四年勅令第二號は是れを廢止す

農商務省に臨時外米管理部を置くの件

第一條 農商務省に臨時外米管理部を置く、外米管理部は外國米朝鮮米及び臺灣米の管理に關する事務を司る

第二條 臨時外米管理部の事務を司らしむる爲め農商務省に左の職員を置く

臨時外米管理部長、臨時外米管理事務官專任二人(奏任)技師專任一人(奏任)屬專任六人、技手專任三人

臨時外米管理部長は農商務部內の勅任官を以て是れに充つ

附 則

本令は公布の日より施行す

◎效果は期待し得可し 米價調節策に就て=某貴族院議員談

政府が二十三日米價調節策を閣議に於て決定せる事は既電の如し、

▲其詳細の內容は二十四日午後四時發表さる可く傳へられしも都合に依り一兩日延期せられしが右に就き某貴族院議員は語りて曰く『政府が輸入米穀管理を以て米價調節を計らんとするは確に出色の施設と謂ふ可し世間或は政府が其斷行に躊躇の色あるを見て是れ政友會が農民の怨嗟を怖るゝ牽制に外ならずとて政府の意氣無きを笑ひ居る向あるも關稅撤廢は仕入地の價格騰貴に依りては一概に調節の效果を完くする能はざる虞あり外米管理は此點に於て一層徹底したる施設にして關稅撤廢以上其目的を達成し得可し、予の聽く處に據れば現在の輸入米にして外米は

▲約百二十萬石あり政府が直接に輸入の法を執らずして單に輸入米を管理するに止め公定價格を以て拂下ぐるの仕組は今回の施設中最も宜しきを得たる方法なり要するに或程度迄の調節は本令に依り期待し得可きものと信ず』(東京電)

◎鮮銀對奉天財政廳借款授受終了

鮮銀對奉天財政廳借款三百萬圓は二十四日奉天支店に於て全額の授受を了せり借款の大部分は奉天支店に預金の形式にて記入必要に應じて引出す筈なり因に償還期限は三箇年なり(大連特電)

◎辭令

廿五日左記の通り辭令ありたり(東京特電)

內務省土木局長 小橋一太
任內務次官(高等官一等)

內務省監察官 堀田貢
任內務省土木局長(高等官二等)

東京帝國大學醫科大學教授醫學博士 佐藤三吉
補東京帝國大學醫科大學長

醫學博士 三浦謹之助
補東京帝國大學醫科大學附屬醫院長

◎對露債權整理 大藏當局の苦心

政府は曩に臨時國庫證券を發行して露國に代り同國大藏省證券を償還せる例に倣ひ今回民間の軍需品又は普通品の賣却代金にして未濟に屬する對露債權を同じく國庫證券を以て整理するに決し目下大藏當局をして關係當業者に就き所有債權の內容を徵せしめつゝあるが該債權は軍需品の賣却代金のみにて

▲約七千萬圓を算し之に對露貿易組合等の輸出せる普通品の決濟代金をも加ふるに於ては約一億圓の巨額に上るべく而も其內容區々にして大藏證券と事違ひ一々實際に當り調査鑑別するの必要あるを以て整理の確定發表を見る迄には尙ほ相當の餘日を存するものに似たり蓋し整理の遺憾無きを期するに就ては先づ債權が果して(一)商取引に依り生じたるものなりや之に反するものなりや次には(二)帝國政府の承認せるケレンスキー政府以前は成立せるものなりや

▲或は其以後に成立せるものなりや更に(三)軍需品代金の賣却代金なりや普通品の賣却代金なりやを調査したる上例へば商取引に依らざる債權の如き又はケレンスキー以後に成立せる債權の如きは之を整理の目的中より削除し軍需品代金の債權には普通品代金の債權に對し優先に整理すべきとの決定をせんとする模樣なれば也尤も夫れ〴〵調査し行くに於ては中には整理條件に缺くる所無きも其の支拂手形が記名若くは指圖人宛の形式を採り露國政府の許可を經ずして他人に讓り渡し得ざるものもありて若し

▲多數法學者の說に從ひかゝる債權は既に當事者間の契約さへ無効なるを以て政府が之を讓受け整理するも露國政府に對抗し得ずとして結局整理の目的たる能はずとせば折角當業者を救濟せんとする政府の計畫も徹底せざる虞もあり其他軍需品は之を完全に發送して途狀を所持するも恰も露國の政變に會し竟に代金支拂證書の交附を受けずして了りたるものもある等其解決一層容易ならずと(東京)

◇京都より　金谷生

◆名古屋日暹寺を出發したる喇嘛僧一行は十六日朝更に同市の巨刹東本願寺を訪ね驛頭盛んなる見送を受けて午前十一時過ぎ京都に向ひ申し候

◆岐阜、大垣、關ケ原のあたりは沿道の櫻花、李花、桃花まばゆき許り、米原、彥根、大津附近は見渡す限りの菜種の花にこれあり候、北の長野は杏の蕾猶ほほころびざるに有繫は南の暖かにて候、喇嘛は長閑けき湖畔の風光を眺めつゝ頻りに崇古の呼倫和を語り合ひ候

◆午後四時過ぎ京都着、驛頭には各宗寺院の代表者はじめ支那留學生一同五色旗を飜しての歡迎にて一行は直ちに腕車を連ねて東本願寺を拜觀仕り候

◆一行は白書院より本堂、阿彌陀堂を拜觀、更に黑書院にては法主の御言葉をいたゞき候、かくて枳殼邸にては雅致ある庭を眺めつゝ蠟燭の火影の下に夕餐を認め候、邸內の十三景は石川丈山の趣向になるもの、就中縮遠亭の如きは賤ケ岳の七本槍の柄にて天井を張り居るにても其の結構を知るべく候

◆殊に五松鳩の傍らには滿正公の朝鮮より持ち歸れる古雅なる石燈籠ありて多大の盛興に打たれ申し候

◆木屋町の旅宿、欄に倚りて鴨川を望めば對岸の燈火水に紅く五條橋のあたりイルミネーションの光りまばゆくては排殿も鳥渡躊躇いたすべく候、草々(四月十六日夜)

◎歐州行電報 注意

近來歐羅巴方面就中英國に宛て又は之を經由する電報は遲滯甚だしく目下の處普通電報は六日間の遲延を來しつゝあり又後廻電報は全部『ジブラルター』より郵送しつゝあるの實況なるを以て此の際緊急且つ重要ならざる電報は成るべく發送せしめざる樣取計はれたき旨今回東方擴張電信會社より遞信局に通知ありたりと

◎軍會計檢査出張

駐劄軍にては會計經理檢査の爲左の通り經理官を出張せしむべし

▲二等主計正竹內鏡九四月三十日出發五月二十四日歸着の豫定にて馬山及鎭海へ▲一等主計石井辰五郎二等主計木崎求雄四月三十日出發五月十一日歸着の豫定にて馬山鎭海大邱大田へ▲經理部長主計監依田正禮副官二等主計川田滿八五月四日出發五月十一日歸着の豫定にて大邱大田へ

■百舌百種■

西伯利の都市とは大概五六百哩づゝ離れて居るから互に樣子が分らない▲其處で浦鹽に居る者に聞けば『此處は大したことは無いがハバロフスクの方は危險だそうだ』と云ひハバロフスクに居る者に聞けば矢張同じやうなことを云ふが其實何處もタイしたことは無いのだと最近歸朝者の話▲飛行機の種類が餘りに多過ぎる爲め聯合諸國では何れを採つたものであらうかと之れが選擇に窮して居る現在五十四種もあつて發動機さへ五十三種からある▲所が獨逸では單に六種の機型と發動機とを有する許りなので操縱及び製作上非常に便利な位處にあり聯合國が彼れか此れかと迷つて居るうちドン〳〵淘汰して行く其處で聯合國では最近種類を削減するより外策がないと專門家が專ら各種の比較研究を行つて居る由だ▲米國で或る妻君が百弗出して小鳥を一羽買つた所が戰時多端の際小鳥などの慰み事に百弗も投ずるのは怪しからんとあつた裁判沙汰となりとう〳〵妻君の敗訴となつた

法人登記

永登浦地方金融組合登記事項中出資口數ヲ四百貳拾五口、拂込ミタル出資總額ヲ金壹千貳百貳拾壹圓八拾八錢ト變更ス
右大正七年四月二十日登記
京城地方法院永登浦出張所

法人登記

伊川地方金融組合登記事項中出資口數ヲ參百四拾貳口拂込ミタル出資ノ總額ヲ九百拾四圓拾五錢ト變更シタリ
右大正七年四月二十日登記
京城地方法院伊川出張所

加平地方金融組合ハ出資總口數ヲ四百八拾五口ニ拂込ミタル出資ノ總額ヲ金貳千百六拾五圓參拾六錢五厘ト變更シタリ
但大正七年四月十日現在ニ依ル
右大正七年四月二十二日登記
京城地方法院加平出張所

法人登記公告

利川地方金融組合ハ出資總口數ヲ六百六十八口ニ拂込タル出資ノ總額ヲ金貳千九百七十壹圓六拾八錢ト變更ス
長湖院地方金融組合ハ出資總口數ヲ參百貳拾七口ニ拂込タル出資ノ總額ヲ金壹千參百九拾五圓九拾錢ト變更ス
右大正七年四月二十二日登記
京城地方法院利川出張所

一白生羅紗 千貳百尺
右購買ス詳細ハ四月廿六日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

一石炭(切込炭) 貳百貳拾五噸 貳口
右購買ス詳細ハ六月二十六日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

歸省中ノ處歸城從前通リ診療從事致候
ドクトル 和田八千穗
診察時間午後二時ヨリ同六時迄

代書 江原 裁判所前 電話三一七三

▲特選寫眞
■中村扇太郎一派の大撮影 智謀、忍術、稀代の大豪傑
鬼丸花太郎
▲德川の柱石大久保彥左衛門と侠骨一心太助の大喧嘩▲快傑花太郎が三代將軍を驚かし藤堂家を救ひたる大活劇
■山本嘉一、立花貞次郎一派出演
藝者一代
▲意地も張もある生粋の江戶前藝者の清く果敢なき一代物語▲氣にやる若旦那の小頭心に優しき辨天娘、今業平の意を盡し合ふ卍字巴となつて惡婆を給ませた涙あるお金に目が一篇の情界實話!
▲米國バイオグラフ會社傑作 ◇大活劇 明光 四卷
◇日活滑稽 猿蟹合戰
▲坊チヤン孃チヤン方の御馴染の御伽話を其儘日活にて特に撮影せしもの
二十六日より 大正館

職工募集
鑄工壹百名
製罐工壹百名
右日鮮人を問はず希望者は履歷書及戶籍抄本を提出すべし試驗の上採用す
平壤 株式會社 中村組鐵工所 電話六〇三番

滋養強壯劑 レグモン

レグモンは多量の可溶性蛋白質と適量のカルチウム鹽類より成れる理想的蛋白製劑にして
京都醫科大學教授 森島醫學博士より有効滋養劑として推奬せられたる名譽ある滋養強壯劑なり
「レグモン」は單純なる強壯劑と異り、其八十五プロセントは吸收せられ易き蛋白質なるが故に營養不給の結果衰弱せる人體に多量の滋養分を供給して血球素と體量を增加し、筋肉を強め、心臟を強くし、又神經を強壯鎮靜せしめて、神經過敏を恢復し、漸次に體質を改良強健ならしむるものなり、又レグモン中に含むカルチウム鹽は最も吸收せられ易きが故に現今專ら醫界に賞讚せらるゝカルチウムの靈妙なる強壯的作用を人體に與ふべき理想的滋養強壯劑なり。
醫學士山下竹三郎氏(日本赤十字社病院)曰く
レグモンを多數の衰弱せる患者に試むるに速かに營養を恢復し治療期間を速かならしめ得たり、殊に其の服用し易きと連用して胃腸を害せざる等の點に於ても、從來外國より輸入せられたる滋養劑に劣らざるものとす。云々(東京醫事新誌所載の學術的報告の結論)
詳細なる說明書あり 無代郵呈す 全國知名藥店にて販賣す
定價 百瓦入 金壹圓貳拾錢 二百瓦入 金貳圓貳拾錢 四百五十瓦入 金四圓五拾錢
發賣元 大阪市東區道修町 藥品製造 國產賣藥 武田長兵衛商店

資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千貳百貳拾萬圓
總預金 貳億貳千六百萬圓
株式會社 第一銀行京城支店
京城本町二丁目 振替貯金京城一一〇六一番 電話 二三一七番
頭取 佐々木勇之助
支配人 西村道彥

大日本優等淸酒 白鶴
品質純良 衞生無害
醸造元 攝津灘御影町 嘉納合名會社
發賣元 京城本町二丁目廿番地 前田酒店 電話一一三〇七番 振替口座四一二五番

京城西小門町二一番地
田中丸病院
院長 醫學士 田中丸治平
副院長 醫師 上野和夫
【入院隨意】 普通病室隔離病室の設備あり
電話八八五番

[illegible]の賃率を示したるが其の後金融界の引締と賃金移動關係に伴ひ一部分に二割方の低落を告げし品種[illegible]一方出兵問題或は戰局の前途に種混沌たる形勢を移して株式界は近來稀有の不振狀態を呈するに至[illegible]出超額を減少せるの嫌ひなきにあらざるも漸次舊態に復し最近出超額は七八萬圓內外に上りたると正[illegible]又原料高の反響に一時四百圓の關門を突破し期米は正米の破調と稅廢減の絕望及び氣候不順[illegible]は是れ亦二月來の不況を反撥調に轉せる等は更に一層物價騰貴率を高め月初以來概して倚は躍進[illegible]合へるもの十種にして之が指數は平均一七七を示し前月に於ける二六八に比すれば更に九分の暴騰を[illegible]らず去六日に於て稅金一段落を告げ從て銀行の手許手薄と共に二[illegible]ルの取手意外に增加を示し無條件[illegible]形一錢五厘乃至四分ノ二と強含一通手形は一錢六厘五毛乃至七厘迄を唱ふる等案丈の狀態を呈し前週[illegible]千圓の增加を示し目先金融[illegible]堅きを示したり

フォッシュ將軍(右)とヒンデンブルグ元帥

向ひ合つた大關相撲

世界の二大戰術家の腕較べ

智惠で固めた聯合軍のフォッシュ將軍と蠻勇元帥のヒンデンブルグ元帥との取組

英國の名將新任在佛聯合軍總司令官フォッシュ將軍の敵手で大モルトケの權化と云はれて居る獨將ヒンデンブルグ元帥が聯合軍の死活を掌中に握る北佛アミアン要塞以北白國イープルに向つて

◆大攻勢を 取り互に對手に取つて不足のない世界有數の戰術家たる兩將軍の腕競べは慥に見物である某將軍の談に曰く『此の勝負一番で大戰の運命が決するので、今や互に神出鬼沒の秘術を盡して居る眞最中である、フォッシュ將軍は那翁一世の戰術を崇拜して居る人で那翁一世の戰術を學んだ而して世界有數の戰術家として聞えてゐる陸軍大學の

◆戰術教授 から校長となり、一九一四年佛ナンシーの廿軍團長たる時に、歐洲大戰の火蓋が切られ、臨時に編制された第九軍團の司令官となり同年獨軍が巴里攻撃大激戰、マルヌの戰にて怒濤の如き獨軍を撃退したが、今回のアミアン攻撃に於ても決河の勢を以て突進し來る獨軍を喰ひ止めたのは、非凡の戰術家にあらざれば出來ないことである、今の我國の退兵器局長は將軍とは相識の間柄で又樋口大佐を始め同將軍の薫陶を受けたものが

◆我陸軍に は多い次に獨將ヒ元帥は大モルトケの後繼者と云はれて居る戰術家で國內に於ける德望は元帥の右に出づるものはないルーデンドルフ將軍、マッケンゼン將軍と共にカイゼル帝の股肱であつて三將軍の意見には帝も一目を置いて居る程だから元帥の指揮命令は五指を使ふ樣に能く行はれ元帥が一度斯うと思つたことは貫徹せずには止まぬ所が

◆百戰百勝 の原因である昨年四月弦狀の陣地を整理する爲め一兵を損せず聯合軍の知らぬ間に後退した手際などは凡將の仕業ではないと賞讃された事があつた機を見るに神の如しとは元帥の戰法を云ふのでアミアンの攻略容易ならざるを見て忽ち攻勢を北方イープル方面に轉じたなどは、端倪すべからざるものである、此の

◆ヒ元帥を 向ふへ廻して戰つて居るフ將軍は、智嚢餘りあるがヒ元帥ほど纖的ではない、此の世界的大戰術家が兩々相對して居る樣は世界の者が悉く注目して居る（某將軍談）

□聖上行幸

天皇陛下には二十五日午前十時半上野公園に開催中の日本美術協會展覽會及び電氣博覽會に行幸午後二時還幸あらせられたり（東京特電）

◎台覽相撲

東宮御誕辰當日の二十九日

‖東宮御所に於いて‖

來る廿九日は東宮殿下第十七回の御誕辰當日に就き右祝賀のお慰みとして東宮御所に於て相撲を御台覽に供すべき旨其筋より

◆相撲協會へ 御沙汰あり協會は昨年も御當日に相撲を御台覽に供して無上の光榮に浴し今又此有難き仰せを蒙る再三の光榮を深く感佩し廿二日朝根岸理事は協會を代表して御受けのため東宮御所に伺候し當日に於ける諸般の準備打合せを爲して協會に立歸り早速地方巡業中の各組合へ右の趣を打電に及び各組合力士は何れも廿六七日頃には悉く歸京すべく當日の相撲並に

◆土俵其他 の設備は總て相撲節會の古式に則ること昨年と同樣にて只今回は花道を些か長めに設へ相撲は午後一時より取始め昨年は幕の內のみなりしも今回は幕下十兩よりとし本取組の外御慰みを重ぬる爲大錦、鳳、西ノ海、栃木山四橫綱の稽古四十八手の手捌初切り及び幕の內十兩の若手精銳を選りたる正五番を台覽に供する筈なりと伺候て協會が東宮殿下の立太子式

◆御祝賀の 記念として奉獻すべき寺崎廣業畫伯揮毫波に日ノ出の圖吉田白嶺氏彫刻千羽鶴綴附きの御衝立は愈よ出來したるより當廿日午前七時協會員附添ひ御所の御門まで持參し午前九時半大錦、鳳、西ノ海、栃木山の四橫綱伊勢ノ濱、朝潮、千葉ケ崎、九州山の四大關に出羽ノ海、友綱の兩取締、根岸理事が附添ひ何れも羽織袴の禮裝にて恭しく是れを捧持し御玄關まで搬入し奉獻の手續きをなすと

◎雨に妨げられた天滿宮の春祭

學生達の參詣

京城神社攝社南山天滿宮にては二十五日午前十一時より祭典を執行した、昨年改築された木目新しいお宮には

◆幔幕を張り 廻し幣目正しい境內社殿の祭壇には裝飾萬端遺憾なく整へられて軈て定刻ともなれば市內各小學校の生徒等多數參列し齋主齋員伶人一席、一同祓を受けて拜殿に參進すれば伶人の奏樂裡に谷村齋主は恭しく昇殿して御扉を開き奉る數名の齋員は海つ物山つ物の神饌を

◆神前に供へ 上ぐることあつて齋主は神前にて大祭の祈詞を奏す、再び奏樂裡に齋主以下參列員は順次玉串を奉奠して神前を退く、當日は餘興として絕えず煙火を打揚げ夕景よりは宮相撲と

◆南山天滿宮の春季大祭

◆香水の話

重い匂ひのもの 輕い匂ひのもの

かりそめの外の散歩にも汗ばむ季節となりますと臭ひ消しに香水の需要が殖えて參る相ですが、此

◆香水を 二種類に分けまして、甘い重い匂ひのするものと、輕いすつきりした匂ひのするものと別々にお話しすることが便宜でして、冬は重い匂ひのもの春は輕い匂ひのものが撰ばれます。輕い匂ひのする香水ではすみれ、ばら、鈴蘭、水仙、スヰートピー、クロバ、リラ、ジャスミン、ヒヤシンス、忽忘草、藤、梅、などが主なもので、此等は

◆戰爭前 までは佛蘭西、獨逸、英國杯から澤山輸入してゐましたのが今では註文した三分の一も來ませんので、內國製が大分多くなり、製法も上手になつたさうです。上等の香水は花の匂ひから採るのでこれは量も少なく値段も高値ですが其

◆原料は ブルガリヤ、土耳古、佛蘭西の南部、亞弗利加、印度等で、中にも佛蘭西の植民地に最も多く、隨つて香水の製造は佛蘭西が古くから盛んでローヂャー、ピノー、ウビガン、ルバンなどは皆一流の會社です。花から香水を採るには牛脂を伸してその上に花瓣を張付け香が皆移つた時分に又

◆他の花 と取替へ〳〵この手續を繰り返し牛脂が取入れられるだけの匂を取つた處で止めるのです。そしてこの牛脂のまゝで原產地から佛蘭西の本國に入りそれから英國や獨逸や米國へ分けられ、こゝで香水に精製されるのですが、その製造は非常に微妙な技術で本當によいのは一子相傳と云つたやうな秘傳になつてゐるさうです。

◆千葉三輪加の催しなども博多二輪加の催しなどもあり、午後は少雨があつたが夕刻にかけて夥しい參拜者があり夜櫻を照らす電光と相俟つて餘興で賑はふ境內は一時頗る雜沓を極めた

◎自動車の製造に補助金下附

五月一日に勅令で發布されん

多年陸軍の懸案であつた軍用自動車補助獎勵議案は無事第四十議會を通過したが、五月一日勅令を以て補助法を發布さるゝとのことである、內容に付いては當局は堅く口を噤んで語らぬが聞く處に依れば

◆補助獎勵金 を下付すべきものは內地に於て完全な製作の設備を有するもの、外國製作技師が實地製作の經驗あるもの高等工業學校卒業の者ならば三年間實地製作に就きたるもの又帝大工科の卒業者ならば一個年間製作に從事した技師を有する工場でなければ補助を受くる資格がないとのことである、目下

◆內地に於て 有資格の工場と認むべきものは僅々二三工場あるのみで、東京では東京自動車飛行機製作所と三井自動車部で此の外大阪に一個所位である、又補助を受けない官業では東京砲兵工廠及び熱田支廠等である

◆內地製作品 許りでなく外國から購入した自動車にして堅牢なるものに對しても四年或は六年間一定の保存期限を設けて補助金を下附する、之が爲め內地の不完全な道路橋梁を破壞すると云つて發達を阻害してならぬから縣道を國道に變更し

◆破損の道路 橋梁の如きは國庫より修繕費を支出することにする方針で目下內務省に於て考案して居るとのことである、因に麴町區內幸町東京自動車飛行機製作工場が今度軍用自動車の參考に米國から購入したのは現に歐洲戰場で使用して居るもので一臺は

◆卅五人乘り 他の一臺は全重量二噸半積載量二噸半發動機は四十五馬力前部に起重機を設備し荷物の積み卸しに最も便利な我國には全く類のない堅牢なものである（東京）

◎桑港正金銀行支店を襲ひし兇賊就縛

白晝桑港の正金銀行支店を襲ひたる强盜團の巨魁ベンネットは其情婦に逢はん爲め二十一日テキサス州より歸り來りたる處を正金銀行の傭探偵ルボックが發見して追跡をしたり、ベンネットは探偵の追跡を感附きルボックに向つて拳銃を發射したるに腰に命中して探偵ルボックは地上に倒れたるも屈せず倒れたる刹那に拳銃を發してベンネットに命中せしめたり此時ベンネットは續いて第二彈を發したるも外れ大格鬪の上ベンネットは捕縛されたり（桑港電報）

◎南米渡航者 出發

各府縣より南米渡航者千八百名は廿五日神戶を發せり因に沖繩人最も多數なりき（神戶特電）

◎耶馬溪より別府に向ふ

煙火を打揚げて別府官民の歡迎

一行は二十四日午前七時四十分久留米發小倉に於て豐州線に乘替へる迄の約二時間を利用して小倉を見物したる後午後二時中津より耶馬溪に向ふ耶馬溪は

◆金剛山 に比して山姿水態小なれど山國川の激流に望んで奇峰突兀として聳ゆ車窓より展望する處悉く絕勝を爲す羅漢寺驛にて下車犬走より羅漢寺に詣づ驛より耶馬溪中の絕勝青に架設されつゝある大耶馬橋は工費一萬七千圓にて

◆橋脚は 既に昨年末竣成し橋臺工事も八九分通り竣工し居たるも數日前の豪雨にて山國川增水し爲に橋脚流失しアーチ崩壞したる爲め莫大の損害を被むり慘憺たる光景を呈し居たりき、約十五町坦道を走れば羅漢寺に達す境內は山腹にありて幽邃を極めて風望雄大なり寺內には

◆木像の 五百羅漢あり熊本藩の儒者澤村大學の墓は金剛門にあり阿彌陀ヶ峰及び靈窟あり一行は寺僧の案內にて寺內を一覽の上午後五時下山同九時別府著、驛には武田町長外官民多數出迎あり歡迎の煙火を打揚げ一行を迎ふ二十五日大分視察の上官民の歡迎會に列し引還して別府名所巡りの豫定なり（別府にて二十五日午前零時五十分總務局部發電）

◎鮮銀野遊會

朝鮮銀行にては來る二十八日近郊に野遊會を催す由なるが其位置は尙未定なりと

◎本日より最新作三大寫眞取揃へて御覽に供し候

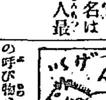
新派事實大悲劇 昨冬須磨在の出來事 殘る母娘 全四卷

貧困な家庭に父の放埒を苦に病んだ親子五人が投身をする………ガンゼナキ娘の子が死ぬる間際に酒をヤメて呉れと父を戒める苦言の場…西も東も判らない四人の子供の母親が死を悟す場…此人情の大々悲劇には如何なる頑強な男も泣きます

東京朝日新聞連載 實劇 孝子美談有馬音頭 全五卷 有馬名物囃子入當劇應用

人情活劇 小供の爲に

二十五日正午後六時より 黃金館



▲殘る母子と有馬音頭 黃金館にては二十五日全部新寫眞と差替へたるが今回の呼び物となるべきは昨冬生活難に堪へ兼ねて一家五人の母子が相抱いて須磨の海に投じたる悲劇にしてその悲慘なる有樣は鬼神も泣くべき程にて悲劇中の悲劇といふべくその外東京朝日に連載されて好評を博したる喜劇有馬音頭には有馬溫泉の實況など見せ居れりその他の寫眞は左の如し△新派喜劇夜中頃△孝子仇討喜劇有馬音頭△人情活劇母の愛△新派事實悲劇殘る母子

▲藝者一代記 大正館にては二十六日より全部新寫眞と差替ふる筈なるが今回の主なる寫眞は左の如くにしてその內新派悲劇藝者一代記は意氣といふ意氣と張とに生きて行く生ッ粹の江戸藝者が苛酷な周圍の壓迫に反抗して許した仲の男をば立てゝ行くといふその健氣な心が災ひして起つて來るかずかずの悲劇に涙を絞る者が多いのである▲實寫海白鯨草（學術參考）▲滑稽喜劇鬼丸北太郎全五卷▲新派悲劇藝者一代記全五卷▲滑稽日活漫畫出入八千代

▲召集令 二十五日より差替へたる有樂館の寫眞中觀るべきは歐洲哀話召集令全三卷にして右の外活劇定忠次新派悲劇等の命等見るべし

▲浪花館 目下京阪落語登喜和會一行にて開演中なるが連夜好評を博しつゝあり

胃腸強健法十二則

其一 食事は三椀を三十分位に食べる程に能く咀嚼すれば消化が圓滿にゆく。

其二 朝食七時、晝食十二時半、夕食六時半位に定め置くが宜しい一回の食事を消化するに約五時間を要するからである

其三 可成家計の節約も必要であるが、自分の趣味や嗜好に應じて食品を選ぶことも必要である

其四 食事は愉快に談笑の間に攝る可きものである。他事を考へたり、讀書しつゝなすは宜しくない。

其五 可成胃腸に良習慣を造る樣にす可きである。朝餐は成るべく淡白な食品を攝り、魚肉や獸肉等は晩餐の際に用ふるが宜しい。

其六 職業により食量は一概に云へないが、食慾の進む時は充分攝るが宜しい。併し胃腸の人は腹八分にも五分にも控へ目に攝食しなければならぬ。

其七 食後の睡眠は人々の習慣と年齡とに依つて違ふが、普通食後三時間位は適度である。

其八 入浴も食後三時間位經過した方が宜しい。少なくとも食後一時間又は一時間半位休憩した方がよい。

其九 食物の溫度も消化の進捗に影響があるから過熱過冷の飲食物をさけ、体の溫度を標準として攝取するが適當である。

其十 煙草と胃消化とは大なる關係があつて、少量ならば消化を進捗させるが、空腹時にかゝる喫煙は良くないから、食事後直ぐに用ふべきである。飲酒も同樣な關係がある。

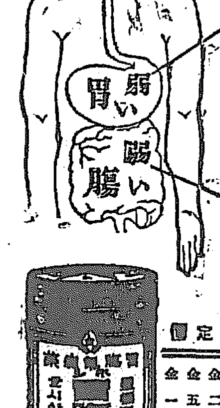
其十一 睡眠不足は翌日に至つて胃腸の消化を障碍を起し易い十分に眠睡して胃腸の休憩を十分ならしむる必要がある殊に營養不良の人に於て一層睡眠を要する。

其十二 每日正規の排便を爲すに力めねばならぬ。若し便秘の傾きがあれば緩和の下劑を用ゐ又は灌腸する必要がある

斯の如きは是皆胃腸の障害！

噯氣または嘔吐を催す。
胸灼けを感じ、胸部が刺さるゝ如く痛む。
食慾減じ、食物の美味の感じを失ふ。
胸むかつき、頭痛眩暈を覺ゆる。
顏面浮腫て意識不明瞭になる。
胸痞えて酸味ある嘔吐を覺ゆ。
舌が白く變色し、又は唾液の分泌が多量くなる。

腹部に膨滿を覺え、便秘を起す。
官覺鈍りて頭腦鬱々とする。
下腹部に疼痛を感じ、腹鳴を起す。
舌の下面部蒼色くなり、頻りに渴を覺ゆる。
腹部に壓迫を覺え呼吸困難となる。
顏色蒼白くなる。
腹部に瓦斯が溜滯りて屢々放屁を爲す。



以上の如き胃腸病の徵候に對してホシ胃腸藥は最も的確なる効能を顯し之を原因的に治癒せしむ。

ホシ胃腸藥

定價 金二十錢 金五十錢 金一圓

東京京橋南傳馬町 星製藥株式會社

花吹雪

大阪 中谷青霞

（十二）

了俊からくと笑つて、
「馬鹿も休み〳〵におしやれ、唐士に恙あるかないか、お坊主は勤めてゐれ人の脈は未だ診らぬ了俊素より知つた事でござらぬ、客の前へ出るか出ぬか、遊女の目附には來て居らぬ、內證の亭主に聞いてお見やれ、某が何事を知つて居らう、預り人がいかう飲べ醉ふてゐやつた故、暫し部屋を借りたばかり、預けたばかり、詐らせて出すも出さぬも、素より初めて面倒見せたこの部屋、お身逹が男を買りに來ておやらうがおゐやるまいが知るべき筈もない我等に、筋も立たぬ云ひ懸り、小兒らしうて臍筋が撚れる、柳川とやら出直してお來やれ。」

泰然として鼻であしらふ不敵の狀に、兵馬は愈々クワッとなつて
『そ、其辨疏お身からは聞かぬ、初めて參つて何事も知らぬとならば、主税之助こゝへ出て武士の禮を盡した上、斯々と云はうば聞かう、最前からの紛紜聞えぬでもござるまいに、一言も吐かぬ不敵の醜態、此儘では武士が立たぬ、月岡が直參ならば建部兵馬も天下の旗本、相手にして不足はない筈、出ぬとならば出させて見せうまでぢや。』
と利かぬ氣を面に顯して眦を擧ぐる。
『これ兵馬殿、お身はそれ程建部の名が安う賣りたいのか、いやそれ程家名が汚したいのか、よしや我等が積つた謀略によつて、唐士が出ぬにせよ、遊女が意氣地の采に振られて、幹を尋ね根を洗ひ部屋まで踏込んでオメ〳〵と酢の蒟蒻のと云ひ懸る、男らしうもない仕業で、何うして直參の武士が立たう、建部〳〵と振廻す旗本の名が惜しいまで……。』
『お云やるな了俊、名を惜しむも時に因る、恥辱を與ふるも町人遊女ならば無念を呑んでも歸らう、相手は月岡の主税之助と見たればこそ、二本差した同士の遂引、卑怯に名乘りも上げず不貞腐の無禮を、其儘にして歸らうやうはない、何を惜んで音を立てぬ、音を立てぬか、武士ならば變蝕は天下の英雄、さア尋常にこれへ出て紛紜お解きやれ。』
『默めされ、兵馬殿、武士と武士との遂引とはお身が勝手に附けた云ひ懸り、天下の旗本は色茶屋の亭主が代は勤めぬ、名を惜めとは髮の事、色廓に先を踏み入れ高が醉興の相手を捉へ、野暮な詰め開きは武士の名折れ、これ程見易い道理はないに、何こゝの屏風を引退けて恥辱を見せうとお云やるか。』
『諄い、一端名乘つて逢はうと云ふたからは金輪際引かぬ。』
『では某が預り人想はれ處へ誘ふて恥辱を與へたとあつては云譯がない、和田了俊も直參のお坊主城中で對面の折から御父讃十郎殿を相手にお目附老中に聞え上げ、眈と詰め開くが覺悟でござるな。』
『さ、それは……。』
『二子兵馬町奴共の群れに入り遊所岡場所に足を踏入れ諸人に迷惑をかくる亂行の次第、聞え上げて親讃十郎殿の不取締を申立て蟄居謹愼はまだなこと、お家の改易さへそれも覺悟で逢はうとお云やるか。』
『そ、それは。』
と兵馬は流石に蹲ろんだ。

日報俳壇

春季雜詠

燒野を町に曳き去る牛車哉　楚川
日毎來て囀る庭のポプラ哉　同
涅槃像に輪燈高き御堂哉　同
流氷の潮に犇めく艀哉　同
砂利運ぶ貨車折々や揚雲雀　同
雲雀野に轡く急行列車哉　同
連翹や春疲れの眼に甚の雨　露蕉
日永さの時計が鳴るや留守隣　同
陽炎ふ土手に硝子の破片哉　織朗
法螺の音の谺す谷や風光る　同
梅に月を傾す驛長官舍哉　草綠
切凧の流れ落つ海は動き居り　同
柳に暗う佇並べり夜の驛　陽川子
草の芽に鷄高々と歩く哉　高村
紛れ來て雛の謎の客となり　待水
春寒う竹割つて居る籠屋哉　巡丘
土手半ば築き捨てゝ雨や芦の角　青丘
紅絹に染む眼板や春日影　佐多女
水車落つ水が光れる春日哉　陽子

雉子 ‖五の日十の日會‖

□ 芹郎
朝の雉子下りるあたり枯草まだつよくも立てる
□ 浮碧樓
雉子のかくれしあとにて氣づかんとす
□ 鳥堂
剝製の雉子つく〴〵と見其眼が赤く

□湖南吟社句會 大田七四二〇 於不倒庵

武に疎き世を知る人や小弓引　不倒
襟垢洗ふ揮發油や春の行く　同
御小姓の中に名取りや小弓引　十亭
春名殘とゞめす水の行く方や　同
逝く春や恥知ら初句稿燒く　靜山
早蕨に厨乏しき我家哉　同
花芥によどむ流れや春の行く　歌か
蛇逃げし方の小山や蕨折る　同
小弓引拾一筋の由緒より　中京
馬洗うて解きし草鞋や蕨汁　同
小弓引的射し童子歌才あり　青兒
江戸に入る藥行商や春の春　同
行春の牧場に牛の眠りかな　田月

●西より東へ　高須賀獸

同利源氏の流を汲んで小弓引　風骨
藤橘の確執久し小弓引　同

ひつそりとこの空家の裏庭に花つけし庭桜低くはこれり。
へと〳〵に疲れつくせば定日の酒の欲しさにはや氣はつけり。
落付けばこの家のあるじ酒をつぐうら若き妹の笑ひけるかも。
移りきし何れは小さき吾が家の庭に立出でて空を仰げり。
朝な〳〵まさ面に見たる南山を今朝は横より眺め入るかも
つぎ〳〵と庭梅に集くるを見て數わかずなり揺るゝ枝々。
漢芽原桃の若木の四五本の咲きのよろしも風な吹きそれ。
街うらの家の靜けさ眼のあたり麥ひろく見ゆ川とさゝろも。
前戸出や桃の老木のしたくゞろうつろふまでの花を眺めつ。
桃の花今日をしきりさ散りいそぐ庭に立てりて見つゝおしめり。

讀者の領分

▲旭町二丁目の小料理屋〇〇ノ家のベッピンさん真面目な純な心の青年を丁度犬や猫を弄ぶ樣にして突き離すのは例へ金を取るのが商賣でもあんまりですよ表面は立派な事を言つても心の中ではきつと怨んで居るに相異ないわ〇本さんの惡口しい事を覺ねて居らつしやることさ（樹の娘）▲某局會計課某雇員は近頃盛んに醜行を演ずる或者は本町四丁目の某店の娘をホテになし或は寄席に女々しき狂態醜人となる等不良青年的行爲の上司の耳に入らざる内反省せよ（世話燒生）▲某郵便局に妙な所から拔分けたハイカラ事務員が居る妙齡の婦人などに對しては甚に深切この上なしだが無學の鮮人等に向つては不深切極まりなしだ局長の御注意を希望す（公平生）▲貴重なる紙上を汚しますが本年の一月頃納金一匁五匁二十五錢にて指輪製作すと廣告の店名及び何名御知せ賜り度し（求愛女）▲山出しの女中か『奥樣奥樣美しい人は早く死ぬと謂ふ小さな女中『では奥樣は長生が出來ますからお仕合で御座いますね（前橋川井仙）▲男女何れを問はずマンドリンの上手な（自分から上手ですとは言はれないでせうけれど）人又は一所に研究なしようと思はるゝ方は記者の御宛にて住所氏名お知らせして戴きたい私の方から御知らせしても良いけれども（芳枝）

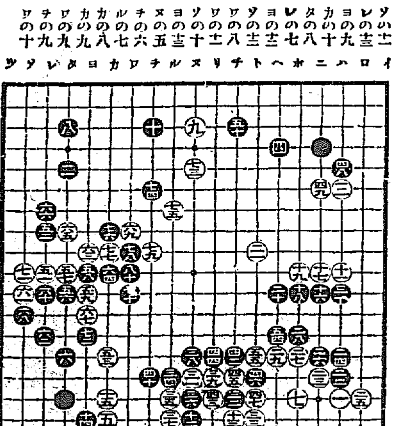
キリン生ビール賣出し
南大門通 電話二五七一番 カフエータイガー

碁戰

十番碁第九局の（四）

三段 山平壽氏
二子 大久保雅彦氏

手	着点
六一	ソの十一
六二	レの十三
六三	ヨの九
六四	カの十
六五	タの八
六六	レの七
六七	ヨの十二
六八	タの十三
六九	ワの八
七〇	ワの十一
七一	ソの十
七二	ヨの十三
七三	ヌの五
七四	チの六
七五	ルの七
七六	カの八
七七	カの九
七八	ワの九
七九	チの九
八〇	ワの十



京日案內

普通 一回前金五十錢 番外 一回前金壹圓（一行に付拾錢增し）
▲申込後中途掲載中止の節は料金不返戾 ▲六回以上の御申込は特に割引のこと ▲御照會は返信料御同封のこと ▲御照會は必ず番號御記入を乞ふ

普通

▲看護婦及見習生募集す希望者は本人至急來談の事 京城本町三丁目 安部醫院 19

電話讓物有 明治町一小川 電話四二七番へ 20

雇入年齢十七八歳の男店員入用希望者は至急來談あれ 新龍山三角地前陸軍御菓子商石見堂 電三二一

醫院讓渡す 在北鮮の要港信用ある醫院主六月上旬成功歸國す家具附屬品共三百圓で讓る（姓名在社） 13

經驗ある帳場店員壹名募集す但し確實なる保證人を要す 京城旭町 川西食料品店 15

番外

內勤社員採用 希望者は履歴書携帶來社あれ 京城黄金町一丁目一八五 蓬莱生命朝鮮支部 男女不問 22

ラムネ販賣人募集 希望者は履歴書携帶至急申込あれ 但市內に確實の保證人二名を要す 京城南大門町八 京城清涼社 21

京仁線素砂驛附近 果樹園讓渡したし 約五丁歩 植付後五六年のもの 龍山鐵道構內 太田便利社 電話一四九 11

勸業債券高價買入 六十八回新債券賣出し 御交換も可致候 大平通一ノ一三 電話二七九三番 朝鮮産業社 17

てんかん
病で時々ヒキツケ困る方切手二錢送れ永年の病も自宅でヒミツに治療す事の書た本を無代進呈す ◎名古屋市南小川町一 救生舘

最新刊

書名	著者	定價
露西亞に遊びて	大庭柯公著	定價二圓
人生植物學	三好學	五、五〇
江戸時代史論（中心とせる）	吳文炳	二、〇〇
文部教員試驗檢定受驗指針	內外教育評論社	一、三五
有島生	高木信威	一、四〇
新春	徳富健次郎	一、六〇
獨立のすゝめ	福澤諭吉	一、二〇
怪紳士	[illegible]	八五
謠能かげぐさ	坂元雪鳥	一、一
黒い沙	[illegible]	五
式辭演說新辭引	[illegible]	七五
改譯新約聖書	[illegible]	八五
朝鮮總督府及所屬官署職員錄	總督府	六五
例解註譯英ノ典新釋	[illegible]	九〇

石上錄之助著 最も簡便なる理想の珠算 定價各七十五錢前後

大阪屋號 京城本町 電六八四、二〇八六 振京城二五七三

骨つぎうちみくじき治療 明治町ふらんす教會前 荒川仁壽堂 電二五九五番

質 大塚質店 京城明治町二丁目元曙町 電話一八四九 ◎戰慄すべき火災の防備に遺憾なき完全倉庫あり ◎多額の融通も出來得る限り御便宜を圖る

山縣五十雄 村上唯吉共著 晶の道しるべ 價十五錢 郵稅二錢 京城太平通 振替京城三五〇番 日報社代理部

ミツワ石鹼

純正の石鹼は亞爾箇保兒に透明に溶解し、遊離脂肪なきが故に混濁する事なく、混合物なきが故に些の沈渣をも殘留せず、更に『フエノールフタレイン』を以て仔細に遊離の亞爾加里を驗するも毫末の反應を呈する事なき、是を化學上の純石鹼なりとす

皮脂の分泌量多くして而かも粗糙なる本邦人の皮膚、及び漆黑を貴ぶ毛髮の洗滌に用ふべき化粧用石鹼は、啻に化學上の純石鹼たるの故のみを以て其適否を論ず可からず

◎ミツワ石鹼は化學上の純石鹼たるのみならず、尚左の性狀を具備す

一、原料を精選し、脂肪に、香料に、苟も刺戟を感ずべき處あるものを用ひず
一、溫雅の芳香を有す
一、細き泡沫を生じ適度の溶解性を備へて能く水にも溶解し而かも浴室に用ひて半途に溶け崩るゝが如き憂なし

故に一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衛生に適ひ、經濟に合する、理想的實用品なり

（現品縮寫圖）

種類		
大形	家庭用	金貳拾五錢
中形	携帶用	金拾八錢
小形	旅行用	金拾貳錢
極小形	旅館用	金六錢
水石鹼	小壜入	金參拾五錢
	大壜入	金五拾錢

（內地以外は關稅運賃を加ふ）

ミツワ家庭藥 ミツワ規那鐵葡萄酒 ミツワ人參葡萄酒 肝油ドロップス 御園化粧品

本舖 發賣元 丸見屋商店
東京市日本橋區橘町四丁目 藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋
電話浪花三〇一、四四八、四四九、四五〇番 振替東京七一〇番 營業部

發賣品定價表……內地以外は定價に關稅運賃を加ふ……發賣品目錄御申越次第送呈

品名	定價
ミツワ浮石鹼	大形 金二十五錢 小形 金十參錢 二個箱 金二十五錢
ミツワ洗濯石鹼	定價 金八錢 大形 金十五錢
ミツワ純石鹼	定價 金十貳錢
ミツワ椿油	大壜 金五十五錢 中壜 金三十錢 小壜 金二十錢
ミツワ固煉油	定價 金二十錢
ミツワ雪の雫	定價 金三十錢
ミツワ花の雫	定價 金四十五錢 大壜 金七十錢
ミツワ月の雫	定價 金五十錢 大壜 金八十錢
三百番香水	大壜 金二圓五十錢 中壜 金一圓五十錢 小壜 金五十錢
ミツワブリリアンチン	定價 金三十錢 大壜 金五十錢
肝油ドロップス	百廿顆入 金一圓四十錢 五十顆入 金七十錢
複方肝油ドロップス	百顆入 金一圓四十錢
ミツワ規那鐵葡萄酒	定價 金一圓五十錢
ミツワ人參葡萄酒	定價 金壹圓五十錢
ミツワ水枕	大形 金一圓 中形 金八十五錢 小形 金七十錢
ミツワ人參錠	百錠入 五十錢 五百錠入 二圓
ミツワ複方人參錠	百錠入 七十錢 五百錠入 三圓
ミツワ健胃錠	三十錠入 十錢 百錠入 二十錢
ミツワ消化錠	三十錠入 十五錢 百廿錠入 五十錢
ミツワ解毒錠	三十錠入 十五錢 七十錠入 三十錢
ミツワ緩下錠	四十錠入 十錢 百廿錠入 二十錢
ミツワ止瀉錠	廿五錠入 二十錢 六十錠入 四十錢
ミツワ驅蟲錠	廿五錠入 十五錢 六十錠入 三十錢
ミツワ清涼劑	紙箱入 十錢 壜入 三十錢
ミツワ解熱錠	二十錠入 三十五錢 百錠入 一圓
ミツワ祛痰錠	三十錠入 十五錢 百錠入 四十錢
ミツワ鎭靜錠	百錠入 一圓三十錢
ミツワ婦人湯藥	八十錠入 五十錢
ミツワ中風錠	百錠入 七十錢
ミツワ制酸錠	百五十錠入 二十錢
ミツワ鎭咳錠	百錠入 一圓十錢
ミツワ點眼液	點眼器入 十錢
ミツワ鼻病液	壜入 二十五錢
ミツワ含嗽錠	百五十錠入 二十錢
ミツワ齒痛液	壜入 十五錢
ミツワ鎭痛液	壜入 三十錢
ミツワ硼酸錠	百五十錠入 二十錢
ミツワ撒布藥	紙盒入 十錢
ミツワ泥膏	硝子器入 十錢
ミツワ螢蟲液	壜入 十錢
ミツワ制痒膏	硝子器入 二十錢
ミツワ養毛液	壜入 五十錢
ミツワ疵膏	硝子器入 二十錢
ミツワ凍瘡藥	硝子器入 十五錢
ミツワ結核錠	百錠入 一圓五十錢
ミツワ治痳藥	カプセル五十個入 一圓五十錢
ミツワ痳病洗滌液	洗滌器附入 五十錢
ミツワ痔坐藥	六個入 三十錢
ミツワ婦人座藥	六個入 四十錢
ミツワ腋臭藥	壜入 二十錢
ミツワ頑癬膏	硝子器入 二十錢

夫文治儀豫而病氣の處藥石無効廿三日午後三時半永眠致候間此段生前辱知諸彥へ謹告仕候
追て葬式の儀は來る廿七日午後三時旭町二丁目メソヂスト敎會堂に於て執行仕候尚御寄贈物は遺言に依り勝手作ら御辭退申上候

大正七年四月二十五日 京城旭町二丁目

妻 渡邊ヨシ
兒 渡邊紹文
親戚總代 林茂
同 多治見虎五郎
吉岡芳太郎
友人總代 三井榮長
穗坂秀一
猪飼政太郎

百圓進呈
りん病 ばい毒
淋病第主藥は治淋劑とし梅毒第主藥は驅梅內服藥とし醫藥學上最有効と確定し帝國醫科大學院病院に於て實驗配劑せる高貴藥なることを保證す若し前述の證言に違ふる事を證明せる時は分析料百圓進呈
▼あらゆる治療をなすも効なき患者に適す
にせ物 東京其他各地ににせドラッグあり 大阪有田製を買ひあれ
●にせ物と奸商 通貨でも僞造する惡奸ある世の中だから止むを得ざる訳なれど我商會同樣の看板を掲げ或は名稱を似せたる奸商が東京初め各地に簇出し無効の藥劑を販賣せり我商會は大阪朝日東京報知東京時事其他全國の大新聞と特約し廣告するも何分盲目千人の世の中にせ物と知らずして買ふ人あり我商會製劑御買求の方は
京城南大門外 大阪有田ドラッグ商會
京城本町三丁目 大阪有田ドラッグ商會
京城龍山等各地に僞物有御注意
大阪三條橋 京城南大門外停車場通 ドラッグ

高木背水畫伯筆 金剛山勝探繪葉書（一組六枚） 定價三十六錢 郵稅二錢
萬物相の朝霞、元山港の朝、海金剛の秋、赤壁江の朝、溫井里の夕、九龍淵の奇を實地に描寫したるものにして其の筆致の優なると加ふるに最良の質を以てし印刷は歐米のそれに比し決して遜色なき鮮麗なる又得がたき良品なり。
京城太平通一丁目 京城日報社代理部 電話（構內十八番） 振替京城三〇〇番

大阪期米
△二十五日後場 ▲當限寄付 中限寄付
二圓十六錢を十錢高に三錢二錢 節中九十錢より三錢二錢先十四錢 一錢四節にて大阪後寄移りに次で三節四十錢の入電ありて十五錢より一錢 [illegible]

仁川米豆取引所 二十五日の六月限 [illegible]

下關期米 當限 中限 先限 [illegible]